京城日報

十四日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

○注目すべき休戰條約 獨逸の過激派政府に致せる

露都よりの報道に依れば過激派政府に致せる獨逸の休戰條約中左の條件あり(露都電報)
一、露都の軍備を撤去する事
二、露國全國軍は其の武裝解除を行ふ事
三、小露西亞州を墺匈國に割讓する事

○示威運動參加勸告 露都形勢重大=兩軍の第一回衝突

十一日夜露都發報道に依れば軍事革命委員は煽動的言辭を以て人民に對し翌日行はんとする示威運動に參加せん事を勸告せるが形勢極めて不穩の兆あり過激派の機關紙プラウダ紙はピエゴルド附近にて過激派と機關砲を有する四千名のコルニロフ將軍配下の軍隊との間に第一回の衝突起れるを報じたるが其結果に就ては未だ詳報なし(露都電報)

○日兵浦港著確認

華盛頓來電=駐米日本大使館は日本軍隊が西比利亞横斷鐵道最終端驛及び港灣を管理しつゝあり軍隊援助の爲め浦鹽斯德に到著せりとの報道を確認せり(倫敦電報)

○哈市危殆 哈爾賓不穩別報

勞兵會は東清鐵道の經營及び地方行政の實權を掌握すべく東清鐵道長官に迫りたる爲め十二日夜遂に交渉破裂し依つて勞兵會は東清鐵道長官外交團に對し哈爾賓及び沿線外國人の生命財産の保護を保障し得ざる旨の通報を爲したり市内の外觀は平穩なるが如きも其實同市は風前の燈火の如く運命危殆に陷れり勞兵會の兵數は三千名を超ゆべきが市内の警護は外交團の決議に依り支那側に於て之れに任ずる事となり支那側は早くも三千五百名の兵を集め萬一の警護に當るべし(哈爾賓特派員)

○巴奈馬宣戰布告 獨墺人巴運河地帶より拒絶さる

巴奈馬共和國は墺匈國に對し宣戰を布告し同時に港內の獨墺人を抑留し獨墺人は巴奈馬運河地帶より拒絶せられたり(紐育電報)

○米鐵道統一要求

ウキルソン大統領は近く議會に對し戰爭繼續期間中米國內の鐵道を統一するに適當なる法律を通過せしめん事を要求す可し(紐育特電)

○葡國大統領捕縛

リスボン來電=葡萄牙大統領は辭職を拒みたる爲め捕縛せられたり(倫敦電報)

○伊艦隊敵艦擊沈

伊國公報に曰く我輕艦隊は九日夜陰に乘じ海上及び海中の障碍を突破してトリエスト灣に闖入しモナーク級の敵艦二隻に水雷四發を發射せり水雷は四發共爆發して旗艦ウィーン號を擊沈せり我艦隊は敵の猛烈なる砲火を潛り無事歸還せり(倫敦電報)

○王總理平和解決主張 若し自己の主張容れられざれば其職を辭す可し

時局に對し天津組は武力解決を主張するも王總理は飽く迄も平和解決を主張し段の多數及び[illegible]び居れり(北京特電)

○新設校位置(內定)

明年度新設に決したる高等學校四校、高等工業一校、高等農業一校の位置に就きては當局にて詮衡中なるが大體高等學校は新潟縣新潟市、長野縣松本市、山口縣山口町、香川縣高松市に、高等工業は愛媛縣松山市に、高等農業は鳥取縣鳥取市に內定し居れり(東京特電)

○露債廢棄影響 銀行側の觀測

露國過激政府の外債廢棄宣言に付き某有力銀行家の觀測する所に依れば元來露國の現狀は殆ど無政府の觀を呈し主權の所在全く不明なれば過激派政府の宣言を以て直に露國の宣言なりと認むるを得ざるや論なし假りに之を露國の宣言なりとするも

▲國際公法上 外債の廢棄は之を許さざる所にして後任政府は如何なる場合に於ても其外債を償還するの責任を有すべきなり固より國際公法は强制力を有せざるを以て對手國にして强いて之を蹂躙するに於ては如何ともすべからずと雖も斯の如き場合は最後の手段として實力に訴へて決するの外なきは始めより覺悟され居る所なり況んや過激派の宣言なるものは只內政上多數愚民の歡心を得んとする事實に過ぎざるを以て殆んど之を眞面目に信ずる者無かるべし然れども斯る無謀の宣言をなす政府なれば

▲今後露藏券の處分に付き如何なる難題を持出すやも知れざるに依り現在銀行の引受け居る露國藏券五千萬圓は結局銀行の損失に歸せざるやの疑問を生ぜざるにあらざるも同藏券は形式に於てこそ銀行の引受けとなり居れど實際に於ては政府が其媒介をなせるものなれば政府に於て此際適當の處斷を爲すに躊躇せざるべしと信ず尤も露國に對する

▲我國の債券に付き政府の外民間に於て任意に輸入せる同國內債六百萬圓前後に上るありて是が處分に就ても大に熟考を要すべし然れども該輸入露債は各所有者が採算上有利なりと信じて任意に買入れたるものなれば前記藏券の如く政府に於て全部之を引受くる能はざるならんも是亦何とか適當の處置を與ふるなるべし

●技術官會議(第五日)

總督府技術官會議第五日は前日に引續き十四日午前十時より總督府第二會議室に於て開會午前中閉會

○在鮮露債五百萬圓 露國政府の國債廢棄前途如何

露國過激派政府が國債及び利子支拂ひを廢棄せりとの報道は未だ公報を見ざるも事實として首肯さるゝが

△財界の觀聽を蒐めし譯あるも其の市場の影響は一部債券所有者の危惧位にて大なる波瀾なきものゝ如し露國の過激派政府は列强に未だ公認せざる政府の處置なりと其の公認せざる政府の正式のものと見る能はざれば露國がいかに國債の廢棄を行へりとて實力ある債權國が其債權を放棄するものに非ず日本は露國債權國中最も小額なる債權國は

▲數十億の債權を所有し今後適當の時期に於て之が利拂を[illegible]一致する列國は飽まで露國の全部に關する國債廢棄を斷行せんとする亂暴なる國債廢棄に對しては適當なる處置を執るに於ては之を許さゞる限り信せらるゝ如き事は否が武力の行使に依るの外なかるべし

△朝鮮銀行にして所有する露國債券を公債にして受入れし[illegible]の額なるが[illegible]

○咸北鐵鑛將來

咸北道に於ける鐵鑛區は國境方面の茂山郡、富寧郡、中部の鏡城郡に散在せるが此等鐵鑛區は[illegible]

○鑛業出願件數

十一月中鑛業出願件數は四百六十三件內鐵鑛百五十一件、黑鉛八十一件、金鑛四十六件、石炭二十二件其他金銀鑛、銅鉛鑛、金銅鑛等にして總數に於て前月に比し[illegible]の出願件數の減少に[illegible]咸鏡南道の一部に同鑛の出願多かりしに由るもの[illegible]

●辭令

十六日附左の通り發令
依願免本官 朝鮮總督府技手 佐藤 [illegible]

●商議特別評議員任命

十二月一日附を以て朝鮮總督より京城商業會議所特別評議員の任命ありたる[illegible]四氏に對し京城商業會議所にては十三日各評議員に通達せり

○京城歲晚 財界は好調平穩

河井百卅銀行支店長談[illegible]

日米大統領敎書(五) 對獨戰爭の意義を論ず

△戰時諸施設提案 我國の執るべき財政並に軍事手段は戰爭及び是れに伴ふ諸事業が余に關する事に從ひて考慮さるべきも余は茲に戰爭を援助し我全努力を傾注せんがために必要なる諸事項を法律案として提出せんと思ふ而して前議會に於て制定せられたる法律を或場合に於ては擴張するの必要あるべく又各國民の在住の敵國人に對し確定せる特權管理を實施するに關する事も肝要なりと信ず敵國人取締に關する大統領の布告(改正國法第四〇六七項)を故意に侵犯する者ありし場合之を刑事犯として取扱ふべき法律の制定さるゝを要す而して此刑事犯人には適當の處罰を加へざるべからず外國人に對して制限を加ふる法令は之を男女何れに對しても均しく適用せらるべし時日の經過するに從ひ敵國人の多數は我政府の費用を以て收容所に至る食を給せらるゝ事を喜ぶに至るべし而して彼等の中の犯罪者と[illegible]同じく他に收容して一般犯罪者と同じき勞役に從事せしめんとするの目的を以て予の提案する法律の目的とする所は近時の經驗に依て議會は物價調節の權能を賦與せんとす予は政府に物價調節の必要あるを感じたり無制限の利己主義の法則が需要供給の法則を破壞したるを見るは予の悲む所也我諸種の工業に於て私利壟斷の弊を防ぎ得たるも尙餘の諸產業には依然其の弊の漸々たるものあり例へば農業者は食料市價の制節に依て己等の收入を輕減せらるゝにも拘はらず己等が購買する諸商品には概ね市價の制限なきを愁訴するは大に理あり同一の不公平は各方面に存す國內の水力を十分に利用し又今日尙聯邦政府の管掌內に在る天然の資源を組織的且經濟的に發達せしむるの方法を講ずるは極めて緊要なりとす直に之を再興し積極的且建設的に施設すべき方法を講ずるは至要なり斯る法律の制定は戰爭の成功を圖るに必要なるは逐日明白となれり我海外貿易の爲めに有効なる組織及び共同方法を設立せんが爲め我輸出業者に前議會に提出されたる法律は今次議會に於て是非之が通過を期せざるべからず敢て言はんことを請ふ議院に向つて戰爭繼續中は依然諸般の行政費に巨額の支出をなすを免れざるべく適當の方法を以て大に之を制限すべく從前の慣行を復興して一切の行政費案は總て單一委員會をして發案起草せしめ以て責任を一處に集中し經費の標準を定め務めて浪費を[illegible]

△主義の爲めの戰 今よりも一層有効に戰爭を遂行する方法に關して予の說く所不足なる所あらば諸君は自らその缺陷を補ひ現議會會期中吾人の戰勝を得る爲めに注意と精力が必要なる所あるべし予は諸君に之を請ふことであるべし此の問題に就ては若し事情急を要するものあらば更に機を見て諸君の注意を請ふこともあるべし[illegible]遂行する事を得ば吾人は非常の熱心を以て之を遂行する所なり吾人は現戰爭が吾人に取りては商船なる主義の戰にして征服等の私念に基けるものにあらざるを熟知すれば又吾人は全世界と共に吾人の參戰は吾人の所以は此戰爭は正義を主張する世界の[illegible]正大なる見地に立ちて戰爭を終結せしめん事を希望す斯く希望する所以は我が友軍と我が敵が同く公明の存在を滅却せんとするもの也我等は我が友人は民主々義と自由とを得ざるべし彼等は覺に恥辱の淵に沈淪せざるを吾人より其領土を奪ひ各州の結合をして分裂を生ぜしめんとせり若し直ちに我が安全なる生活の終焉なりと而して我が名譽は永久に失墜し吾人は[illegible]彼等の戰鬪方法は人道の主義を蹂躙し彼等の陰謀は武士の體面を[illegible]我國民の或者の心を腐敗せしめたり又彼等の險惡なる外交は[illegible]

△是れ予が信仰也 予は明白に言明するを最も必要とする時に於て明白に言明せり是れ他の故あるに非ず米國人は戰爭に熱中しつゝある時に方りても尙古來米國をして世界に名譽あらしめたる理想をも原則をも忘れざるべからざるべし我等の政策を採るべき我國傳來の砲門を用ひ[illegible]目的を達するを期し最後の勝利の[illegible]戰爭を意味するものなれば我等は此の公正の[illegible]界自由國民が相團結して戰ふ所の無私無慾の戰爭なるを以て其の解決も亦同一の動機性質に基き公正神聖を旨とすれば自由國民の目は開かれたり神の手は各國民の上に置かる各國民にして神の正義と慈悲に叶ふ[illegible]是れ予が信仰也(華盛頓電報完)

○財界の好調

十二月も半ばを過ぎ[illegible]各銀行に於ける取引先の膨脹は殆んど[illegible]を語るもの

○定例長官會議流會

十四日の定例長官會議は都合に依り流會となれり

●竹島靖氏著任

鐵道局龍山出張所長より本府營業課勤務に轉任せし竹島靖氏は十三日著任せり

○大倉男消息

十三日朝京城を出發したる大倉男一行は同日午後四十分釜山著出迎への若松府尹と共に東萊溫泉に赴き同夜釜山府尹は大倉男を主賓とし大池、迫間、香椎、坂田氏等の有志を招き歡迎會を催したるが男は同夜釜山出帆の連絡船にて歸東の途に就きたり(釜山)

●今村財務官入京

遞信局財務官今村次吉氏は十四日午後八時五十分南大門驛著列車にて入京十六日まで滯在十七日午前出發歸東すべし

●木村鮮銀理事歸東

京城中の東京駐在鮮銀理事木村雄次氏は十五日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上すべし

●大田鮮銀理事歸連

京城中の鮮銀大連駐在理事大田三郎氏は十四日午後九時四十分發列車にて歸連せり

●高瀨東拓理事東上

京城中なりし東拓理事高瀨梅吉氏は十三日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上せり

●遞信局監察係主任

遞信局監察係主任鈴木剛事務官は遞信局の遞信課長兼監察係主任は今回遞信事務官[illegible]

○中村氏張宴

鎭南浦特式會社中村組社長中村精七郎氏は十四日午後六時三十分より花月に於て饗宴を開き京城官民の主なる人約五十餘名を招待す可し

○石塚夫人送別會

愛國婦人會員有志は近く東上の害なる石塚東拓總裁夫人の爲め來る二十日正午京城ホテルに於て送別會を催す由なり

○山崎猛氏送別會

元本社理事山崎猛氏關東に就き京城記者團並に若葉會の主催にて十六日午後零時三十分より朝鮮ホテルに於て送別會を開催の筈參加希望者は十五日中に申込み會費金三圓當日持參の事

人事消息

▲江藤哲造氏(熊本縣代議士) 十四日午前退京內地へ
▲高洲規氏(群山日報社長) 十四日午前歸群
▲相羽砲兵中佐(龍山砲兵大隊長) 十四日午前歸山へ
▲弓削學務課長 十二日午後內地より歸任
▲岡本至德氏(咸興地方法院檢事正) 十三日午後入京西山列車北へ
▲高瀨梅吉氏(東拓理事) 十三日午後歸京
▲高野省三氏 十四日午前歸京
▲藤谷少佐(江原道警務部長) 十四日午前中北へ
▲牧野貫之氏(朝鮮銀行副事) 十四日午後八時五十分南大門驛著列車にて歸京
▲菅田勇氏(專賣課技師兼龍山出張所技師) 京畿道及び忠南へ出張を命ぜらる
▲弓削幸太郎氏(總督府學務課長) 十二日夜歸任
▲丹羽清次郎氏(京城基督青年會幹事) 十四日朝歸京
▲佐藤四郎介氏(李王職事務官) 十三日夜京南より歸京
▲森田繁藏氏(公州地方法院檢事正) 十四日夜入京本町尚泉館へ投宿の筈

美術界所見(一) 大阪にて 中谷青霞

○目下我邦の丹青界は渾沌としてその歸趨する處を知らない。殊に關西に於ける青年畫家の作品は概して氣餘つて力足らざる傾きがある。技術の上に於て未だ充分精鍊されて居らないのに內容の豐富な深刻なものを描かんとする、勢ひ描き出された內容の全分量は描き得ない事になる。隨つて[illegible]的な變な何處かに間の拔けた充實しないものが出來上つてゐる。

○古土佐風の繪卷の流れと共に、土佐から脫胎して印象派風の一派を出さんとしてゐる處は、少壯畫家の努力として充分に將來を認める事はできるが、現在の作品の上には一向其効果を認めない。靴を隔てゝ痒きを掻くの怨みがある。

○文展の作品も又一の型に嵌り込んで了つた、そうして院展とは反對に力餘つて意足らず。構想內容の上に於て充分洗練されて居らず充實されてゐないのに技術に任せて書き過ぎるから、勢ひ內容の貧弱な否全く寄な畫面が往々生じてゐるのを見受ける。隨つて根氣に職人的に丹念に繪の具を盛り上げた白描の作品が頗る多い、審査員も又その背かし振りの稍々新しい技巧の精練されたものを目標に入選させてゐるのがある。奇麗なばかりが繪畫ぢやないが技術本位の文展には自然內容の貧弱なものゝ生ずるのは是非がない。

○東京の文展派少壯畫家は彼の松岡映丘氏の『室君』が評判になつてから以來我も〳〵と土佐風を狙ひ藤原時代の歷史か謡曲から題材を取り、下げ髮に緋の袴烏帽子冠り、屛風に狩衣直垂、縫裝や市女笠での風も埋つてゐると云ふ有樣。京都派は又契月の花鳥か唐美人か舞臺式の山水かに追從して何れも新しき試みに努力せず只管審査員の鼻息を窺ふやうな當込みの繪ばかりで、京都には少壯の老大家の多いに驚かされると云つたやうな譯である。

○これも入選の當落が直ちに自家の米櫃に影響するから推薦や特選に入らずとも兎も角無事平穩に審査の關門さへ潛れば可いと云ふに努力するばかりだからでもある。院展と文展も共に各々或一種の型に入つて了つたと云つて差支ない。が畫家としての意氣は確かに院派にあつて堂々たる理想的の徑路を迪つてゐる、しかし一般の鑑賞と普遍的の畫給の上から云へば矢張文展派の遣り方を取らねばならぬ。

●大文豪の未亡人を脅かして
墓地を奪んと企つ
厄介な露國の土地財産私有禁止令

土地財産の私有禁止令を傳へた露都電報は更に廢帝のトボリスク脱走説を報じてゐる右に就きニコライ数台の瀬沼恪三郎氏は語って曰く「この頃露國からは時々

意外の電報が来るが直に之を信ずると飛んでも無い間違ひを招くから是非第二第三の後報を見なければ容易に信ずることは能きぬ即ち電報の多くは悉く現在の過激派政府に依って發せらるゝのであるが今日の過激派は

果して如何なる地位に在るか彼のレーニンは露國の政界を攪亂すべく獨逸から莫大な運動費を貰ったと云ふ事は既に隠れも無い事實である、而して僥倖にもクレンスキーを逐ひ天下を奪るには奪ったが未だ聯合諸國より認められず且

肝腎な獨逸からさへ馬鹿にされてゐる様な狀態である元来レーニン一派の過激派は全くの虚無黨であって土地財産の共有即ち共産主義は多年彼等の夢想してゐたものである今日の露國の地主連は古くから

名譽國民と尊稱せられ其潜勢力は頗る根強く如何に過激派の天下なりと雖も然う易々と解決の能きる問題では無い只無智の勞働者や農民を煽動して盛んに共産主義を吹聴してゐるに過ぎない彼等の理想は

土地財産を全國民平等に平均したいと云ふのであるが假りに土地財産を平均ならしめても力の平均は到底行ひ得ざる事である若し土地財産を一般勞働者や農民に分配した所で無教育な彼等は忽ち之れを飲んで了ひ昨の平等は

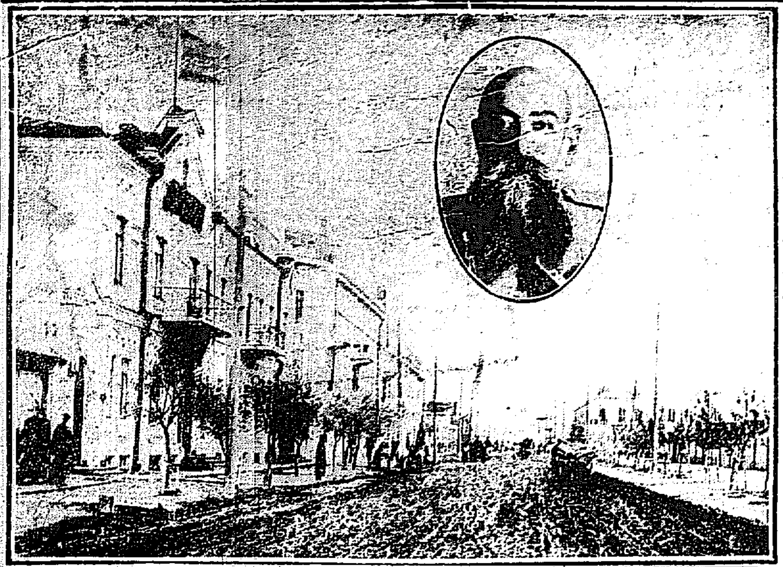
一朝にして再び不平等に歸する事は火を睹るよりも明かである彼の杜翁も露國の大地主の一人であったが死に臨んで己が所有の土地の大部分を普く農民に與へて了った所が此頃に至り狼の如き之等農民が其恩をも忘れ去り今や遺族が僅に有してゐる

若干の土地を始め杜翁の墓地迄奪はんと未亡人に迫りつゝあると云ふ事だ之は全く過激派の煽動の結果で愚昧なる農民や勞働者の多くは今後何物を要求するか殆んど常識を以て判斷することが能きぬ更に過激派内閣は

何時迄續くか元より不明であるが憲法會議の委員の如きも同派に利あらず又た最近の電報によればクレンスキーは軍隊に投じコルニロフ將軍も某方面に逃走したと傳へてゐるコ將軍は一時反逆者と誤られたが大に意氣投合してゐる樣だから必ず

何等かの企てはあるであらう又カレデン將軍も近來消息を絶ってゐるが同將軍も大に注目の價値がある何程度な前皇帝のトボリスク脱走説が興味的に傳へられてゐるが萬一皇帝が脱走し得ても今日の露國では

到底帝制の復活などは絶望で又現在は假令嚴しく幽閉されてゐても敢て危害を加へる樣な事はあるまじく逃出せば却って危険で一身の安全から云へば寧ろ今の儘で靜かに政界の變動を覗てゐる方が得策である」（東京）



◆風前の燈火の哈爾賓とホルワット將軍

●窓口から見た年末金融
爲替や振替貯金の扱高が昨年より多い

歳の暮になると例年金融界が繁忙しくなるため

同郵便局の窓口も忙しくなるが服部京城郵便局長に就て現況を聞くに「本局の單純な窓口關係から年末金融を觀察しただけでも本年は

一般市況が著しく活氣を帯びて商取引が膨大して来た事が窺はれる即ち本月一日から十日迄の爲替及び振替貯金の扱高は百三十三萬圓に達し之を

昨年同期に較べると八十四萬五千圓六割四歩からの増加を見るに至った尤も振替貯金の中には市内各銀行から内地送金に當って親銀行の手を經ると十萬に付五十圓の手數料を徴せらるゝが

振替貯金に依ると十萬圓で五十二錢の手數料を支拂ふに過ぎないから自然振替で送金する者が多く現に本月に入ってから一口三十萬圓と言ふ大口を扱った程であるから金額は非常に増加した

郵便貯金は市場の有金は潤澤であるが利用者が主に一定の收入を有するもの又は比較的下層階級の者が多いから物價騰貴の影響を受けて

自然減少の趨勢を來し本月一日から十日迄の期間に於ける受入高は六千八百二十六圓で昨年同期に比し一萬千五百四十六圓減拂出高は一萬三千二百二十九圓で昨年に比し千六百三十六圓の減を示した、今後

年末に近づくに從って受入は益々減じて拂出が増加するのは例年の現象であるから二十日前後に至ったならば本局に於ける郵便貯金の現在高は段々と降るであらう」因に

朝鮮全體の郵便貯金高を聞くに本年十一月末現在の時金額は千百十六萬五千八百卅三圓で此を昨年同期に比較すると百七十二萬六千圓許の増となってゐる

●毒々しき硫酸の海
大日本肥料會社西工場の火災

十三日午後八時大阪西區大日本肥料會社西工場より出火し隣接せる富士製紙會社第七工場三棟を燒失し十一時鎭火せり現狀は一面に硫酸の海と化し毒々しき火焔を揚げ一時凄じかりしも硝石庫に延燒せざりしは幸なりき損害は兩者にて百萬圓以上にて負傷者數名を出せり保險は肥料會社四十萬圓製紙會社三十萬圓を附しありと（大阪特電）

●家屋埋沒死傷數十
八丈島の椿事

十三日午前九時八丈島末吉村の海岸崩壊し家屋十餘戸埋沒し人畜の死傷數十に上り死者の屍體發掘中なるも原因は暴風雨の爲めなる可し（東京特電）

●列車延著 十三日午後十一時四十分南大門驛に到著すべき元山發の列車は鐵原驛附近にて機關に故障を生じ約四時間延著せり

●猩紅熱 龍山漢江通り鐵道官舍八十號の五號川口線路工夫（二）は十四日猩紅熱と診斷鐵道病院へ入院せり

●小火 十二月十三日午後六時四十五分積善町百七十二番地米商李圭夏方より出火藁葺約一間を燒失常備消防隊出動消止む原因取調べ中なり

●六名行衛不明

關門を根據として朝鮮近海の運搬船伊豫國淺井物產株式會社所有汽船國造丸（七十噸）は船長富山縣泉郡有物町中哲根與三郎外八名乘組去る九日午前十時下關港を出帆し江原道に向け航行の途中豊浦郡蓋井島附近に於て風波の爲め沈沒し乘組員九名共行衛不明となりたりと救助のため鴻城丸現場に急航し遭難地附近を捜索せしも船體並に乘組員を發見するを得ず引返したる由なるが右の内乘組員三名は蓋井島に漂泊し救助されたるもその他は不明也

◇新食料品の發見

和歌山市立實科高等女學校教諭坂口宗一郎氏は蠶豆を新食料品として發見せるが大豆に優るものなりと（大阪特電）

●危篤に陥れる青山博士

青山醫學博士は腎臓炎にて靜養中の處十三日午前零時頃より嘔吐を催し容體刻々危篤に瀕しつゝあり（東京特電）

●龍岡事件判決言渡

無期延期となり居たる龍岡竹中郡書記一家鏖殺事件の判決言渡しは其後裁判長遠藤判事の手にて事務整理中なりしが愈々十七日午前十時より裁判長遠藤判事根本淺原兩判事陪席遠藤檢事立會にて地方法院第一號法廷にて開廷判決言渡あるべしと（平壤）

●中管局辨當値上

鐵道院中部鐵道管理局は來る十六日より汽車内辨當の値上を實施する由其價格左の如し（東京電報）▲上等辨當三十錢▲普通辨當十五錢▲上等茶五錢

☒罹らぬ前に
◆◆注意すべき事ども
是れから流行る恐ろしい猩紅熱

猩紅熱は年中ありますが、殊に秋から冬へかけ來春三四月頃までの比較的寒い時季に多いので

♣患者は四歳から六歳までの子供が多く、病源菌は連鎖状球菌によく似てゐると云ふことだけは分ってゐますが、明確には知られてゐません

この病氣は忍び初めは少し大きな子供ですと咽頭、喉頭のカタルを起したり、扁桃腺が腫れたり、頭痛がしたり吐いたりします。中でも咽喉の痛む子が一番多いのです。そして子供は

♣突然高熱を發し、息使ひが苦しくなったりします。かうした狀態が一日續きますと、翌日は顏から全身へかけて赤く發疹しますがその速かな事は驚くほどで、一點々へ發し始めるとたちの間に金太郎のやうに赤くなります

これがこの病氣の特長で、舌を見ると乳頭が赤く腫れて、まるで苺のやうな形狀になることも間々あります。多くの場合は

♣發疹すること二三日經ってから熱が下り、一定の時期（二週間目の初め頃）に皮が剝けはじめますが、それが指の先、足の裏の指の叉などでは、面白いやうにくるくると剝け脱ちます。この落屑期には皮に傳染力を持ってゐますから餘程注意しないと傳染の虞れがあります、そして輕症の場合はよろしいが、怖ろしいのは三四週間目の終り頃で、出血性の性のわるい腎臓炎などが併發し

♣屢々危險に陥ることがあるので、何より安靜することが必要です。日本で流行してゐる猩紅熱は餘り生命に關するやうなのはありません

然し歐米、滿洲、朝鮮方面に流行るのは發出後に重症に陥るものが多いのです。豫防法としてはその病氣にかゝった家庭との交通を絶對にせねことが第一でもし家庭内にさうした患者が出來たなら

♣是非隔離しなければなりません、獨逸などでは實扶的里亞や猩紅熱に罹った兒童は一切學校へ入れない事にしてあります日本では傳染病に關する家庭と學校との連絡設備が設けられてゐませんのために、知らずに登校した一人の生徒のために、生徒全體に感染したり一家族全體に傳染したりするやうな事があります（小兒病院の談）

八雲琴（十三）
（淪落の女の末路）

いとも清しき流れにてすら御懐かしき貴郎様と逍遥し眺めし河瀬の音を聞き給ふかな月影を二人して眺め年々江畔をさまよひ候ひし淪落より淪落をたどり

の樂しかりける妾の心の嬉しさはとても拙なき筆紙のつくす所に候らはず妾の生涯を通じて思出の種になる事と存じ候されど其嬉しきも束の間にて歡樂の後にせまりし哀愁の雲におほはれて昨夜の如き悲しき胸の中を貴方に通ずる由がとてなく紙一枚に幾多の犠牲を拂ひて身を縛らる要綱を解くに解かれず何事も儘ならねばこそ憂世とか申す事

假へども思案し乍ら歸らるゝお姿を見下した時の妾の胸中御察し候へ遊ばされ度く候主人の命にて一歩も外に出さず使を立てる事も電話をかける術もなく身も心も張りさける樣に悲しみ申候神ならぬ貴郎様は知らるゝ由もなけれど

に秘めて時の來るのを待ち候今朝のお端書にて當地を去られし事を主人も知り午後より電話の取次を致し候主人が後より人に語りし所によれば妾は鬼の姿にて通りの女を装ひ自分の内に來たる恐ろしき女なりと申したる由笑止の至りに候寧ろ如何なる身になればとて

女と遊ばされ度候折角得たる光明と希望を今を限りに破られて世は今後の妾は如何にして過し申すべきや決して妾は七年前の美しき戀を忘れ得ざる者にて候よ花柳界の浮薄なる戀に滿足出來る位ならば毎日に寫る月かげならで夜毎に變る枕の數の内にも戀は得られ候べき切なき妾の胸の中御推察遊ばされ度候

茲まで讀んでAは深いと溜息を吐いた

讀者文藝（一等に五十錢）

俗謠『筆』

汗寒かろ感冒引かぬよと筆もつかし故郷便り（一等）　釜山富平町三丁目十八　綾瀨寳子

懐かしこし海邊の松ふ結の從隊の筆　龍山　岡本小芥子

凍る机にせと錦置けば更けて寒し訟月の影　京城　静子

戀が宿った君の筆は噛むで含めた唇の色　江景　手島蕉之助

妹の便りも戀めく文よ私で祇園と筆のあと　京城　村雨夜之助

戀の文ならすら／＼書けど心の無心の鈍る　京城　宇二

ヰット紅潮色白い中に投げて見たさよ庭の葉　戒峰　穂波

筆の穗先を見つめた眼から落ちる涙が硯の水　京城　さ美子

口で言へない筆にも書けぬ娘心の御恨み　龍若浦　劍牛

讀課題及び募集規定

[illegible]

商況

證券現物特電
[illegible]

公債直取引
[illegible]

深川正米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

雜報

●綿布糸小甘し [illegible]

絹布龍レーは十圓

一高一低三 [illegible]

稍々不勢 [illegible]

百圓摘み持合相場

白七十七圓

十五錢

銘は十圓四十錢

●正米更に下押
商談全く中絶の姿
錢方を引下又々二十錢 [illegible]

●鹽干魚三割高
田作 [illegible]
數の子 一貫目一圓
七八十錢 [illegible]
鱈節 [illegible] 何れも平均三割内外の昂騰なり

下關相場
[illegible]

●糯は小弱し
各地は何れも不引合
入氣先走り [illegible]

作附反別の減少 [illegible]

小賣値段も上三十二三圓、並三十一圓見當を下らざるべし

●支那栗產地高 [illegible]
跡產地にて [illegible]
袋十一圓四十錢 [illegible]

●生果は蜜柑高 [illegible]

一上物は四圓三四十錢 [illegible]
例年の五分 [illegible]

南大門の週穀
[illegible]

十 仲買店
仁川海岸町三丁目　仁川米豆取引所仲買人　電話長九〇五番　八三三番

仁川正米
[illegible]
人氣を唱へ跡更に安 [illegible]

正米の相場は定期以上の浮動狀に [illegible]

安 [illegible] **一圓一二十錢**

釜山穀物（十三日）
[illegible]

市場雜觀
高を感じて割高は益割 [illegible]

仁川期米
十四日前場（下遊ろ）
兵庫二十三圓○五錢、大阪天候晴天 [illegible]
東京六十一錢、兵庫二十二圓十三錢 [illegible]
丁度 [illegible]
東京五十二錢 [illegible]
九十三錢、兵庫二十二圓 [illegible]

仁川米豆取引所
大五仲買店　店主　猪飼政太郎　[illegible]

仁川米豆取引所　十四日の二月限
[illegible]

乾物相場
[illegible]

大阪期米
十四日後場 二十四圓二十六錢 二十三圓八十一錢 [illegible]

仁川米豆取引所 十四日の二月限
[illegible]

連絡船上陸客
十三日朝 釜山入港新羅丸上陸一、二等客 [illegible]

京城　曇小雪後晴 [illegible]

滿洲通貨の種類（三）

一市民の鑄造したる通貨

洋錢票は一に銀元票と稱し洋錢の兌換券にして從つて洋錢票には大洋錢票と小洋錢票との二種あれども滿洲には大洋錢票は流通せず專ら小洋錢票のみ流通し居れり小洋錢票の發行銀行は東三省官銀號、奉天商業銀行、黑龍江省官銀行、中國銀行、交通銀行、殖邊銀行の各行より發行し一元、五元、十元、五角、十角乃至五十角、二角、一角等其の種類甚だ多く此の內中國銀行交通銀行發行の票は

▲最も信用有　比較的圓滑に流通するも其の餘の各票に至つては充分なる準備金を缺き兌換の請求を受くるも一時に全額の兌換に應じ難きもの多く爲めに票と現金との價格の開を生ずる事往々あり帖子は其の性質洋錢票と同一なれど洋錢票は皆特種銀行又は私立銀行より發行する處の小洋錢兌換券なるも帖子は錢莊若しくは普通商人の發行する小洋錢の兌換券にして一角、二角、五角等小額面のもの多く而して其の發行に關しては之れを放任して自由に委する地方あれど官憲又は商務會の監督の下に發行するもの多し銀錠は略一定の形態に鑄出したる

▲一種の銀塊にして文明の貨幣と其形式を異にし其形狀種々あるも馬蹄形を成すもの多きを以て日本人は之を馬蹄銀と通稱するも支那人間にては通常元寶銀なる稱呼せられ西洋人は其の形狀に似たるを以てシユースイルバーと名付け又之をサイスイとも呼べり其他銀錠には小顆面餉銀、寶餅子、片銀等種々あるも主として流通するは元寶銀なりとす元寶銀は全く民間の任意鑄造するものにして市中に銀爐又は銀房と稱し其の鑄造を營業となす者あり顧客の注文に應じて之れを鑄造す元寶銀は價格を表ずに

▲特種の呼稱なく其の計算は全く其の重量に依りて之を爲し計算に用ゆる量目の單位は兩と稱し兩以下錢分厘等に分ち共に十進制にして十厘を一分とし十分を一錢とし十錢を一兩とす然れども支那に於ける度量衡の制度は貨幣制度と同じく頗る紊亂を極め全國一の秤器なく官憲使用の秤器すら營庫平、部庫平、關平等の種類あり民間に曹平あり其の量目一ならず從つて一個の元寶銀に在りても各々其の價格亦一定せざるは勿論なり且つ其の鑄造を營む者は前述の如く一個の市民に過ぎざるを以て其

▲鑄貨に對しては深く信を置き難きが如きも銀爐は古來其の信用最も厚く自己の鑄出せし元寶銀に對しては各個毎に其名を刻し重量目を記載し其の品位に付きては絕對の責任を負ふの慣習なるを以て其の流通上故障を生ずること殆ど之れなしとの事なり以上述べたる處は滿洲內に於ける通貨の概略にして斯の如き多種多樣の通貨が各々聯絡を有せず相場の高低常なく信用價値を離るもの多きを以て其の取引に及ぼす不便不利は言を俟ざる處なり滿洲は今や我勢力圏に屬するを以て通貨統一を圖るは最も急務にして又其方法の宜しきを得ば案外容易に統一の行はるゝ理由ありて存す（終＝大連）

奉天の討南軍

未だ發せず

康平縣に出動

奉天督軍張作霖氏は昨今南方討伐の爲め許蘭洲氏を總司令として已に其一部隊を出發せしめたりとの說あるも探聞する所に依れば督軍は北洋主戰派の最硬派にて前に主戰意見を天津に派し主戰督軍團に對して提議し更に又楊宇霆に謀り長春より二師を出動せしむる事を擧議し附來出師準備をなせる事は事實なるも未だ出兵せるには非ず但だ旅長馮德麟師の叛軍討伐の爲め二十七師騎兵一團を昨日同地方に派遣せし事は事實なりと

特產出廻不振

結氷遲延と大連大豆戰未決が原因

長春に於ける奥地よりの大豆出廻りが未だ完全ならざるは本年溫暖のため結氷遲延と大連の大豆戰未決とが大なる原因をなせる理由なる事は屢々報じたる處なるが最近長春城內を通過して苛税を課するに堪へ難きも又一面寬城子に於ける大豆の長鐵道の下九臺驛へ集るもの以外に多きが又多少の影響を來せるなり元來露寬城子に於ける大豆の出廻りは革命以前に於ける露西亞政府の內命に基き貨銀政策を用ゐて北滿大豆を浦鹽經由にて輸出したるに依れるが

▲革命後は貨車常に不足を告げ軍需品以外の物品運送大停滯の結果は南滿經由にて大連に送る者漸く多きを加へたれば露寬城子の大豆出廻りは必然長春に吸引せらるべきなるにも拘はらず如上の理由にて其後依然として或る數量は大豆馬車の出入頻なりたり、之れ支那の課税を免れんとするによれり、又下九臺驛も邦人在住者十數名を算するのみなる小部落なるが近來漸く大豆の出廻多く、而して其の結果として長春城內の邦人雜貨商には多少の打擊なきを能はざるなり、即ち例年は大豆を運び來る馬車は歸途黃燐寸、石油其他日用品を搭載して行けるが本年は最早期節に入りては長春城內を絡繹として列走すべき

▲大豆馬車　減じ居れる觀あり、又本年の著しき傾向は白鷄豆の出廻りにして斯品は在來長春驛の出廻り日々四五車に過ぎざりしが現今にては日々三十車を數ふるに至れり、是は米國の對獨宣戰後同地の食料品に供さるものにして同時に本邦內地へも輸出漸く盛んになり一時は百斤（日本斤）十三圓迄唱ふるに至りしも本年は北滿地の豐作にて九圓所迄下落せるが該品が米國人の嗜好に適し輸入急增せしため同政府は戰時經濟の上より一時輸入禁止說迄唱せらるゝに至りしが其後立消ねとなりたり、而して昨年の今期に於けるが如き軍器、日用品（燐寸、莫大小、牛油、蠟燭、原料等）の五百車乃至千車と云ふが如き大列車輸送は姿を見ざるに至れるが之亦現今の露國として已むを得ざる所と云ふべきなり（長春）

風に祟らるゝ仁川の内港

▽嘆く毎に必ず船の

▽破損や沈沒が多いよ

船溜りを失つて而も未だそれが出來ない仁川港は禍ひなるかなである、風が吹く度びに必ず極つて二隻や三隻の沈沒破損は生ずる勿論船の方では充分の警戒をして或ひは島影に避難し或ひは棧橋に繫留するのであるが何を云つても彼の眞正面に吹き込む北風が激浪を蹴つて御見舞するのであるから堪つたものでない早く逃げ込む船溜りが出來るか月尾の築堤が成就しないと仁川港內の船は大小となく

此の冬中に沈沒　或ひは破損して無くなつて了ふかも知れぬと云ふほどそんな被害の率が多い去る九日の荒れの如きは難破十餘隻沈沒五六隻に達して居る、月尾島の間から吹き込む北風は凄まじく怒濤岸を嚙むで船は木の葉の如く棧橋諸共粉碎さるゝと云ふ有樣當時厄介な事には客棧橋の前方に繫留して在つた土木局の鐵製大型土運船の五百噸もある奴が而も二隻共錨綱が切斷して漂流して來たので

何かは以て堪るべき當つたが最後木葉微塵にやらるゝので隨分被害も多かつた先づ第一に風島組所有の帆船寶作丸は石炭五十噸を積載して海州棧橋に繫留中前記の土運船が漂流して來て衝突し船首其他に大なる破損を受け其上錨綱二本を切斷されて風浪に弄ばれつゝ元の運輸部棧橋の南方に來て遂に沈沒した其の損害は船體が千三百圓で積載の石炭が一千圓、木村組の所有する

艀船第一號も

港町海岸に繫留中同じく其合で原鹽八十五噸を積むだまゝ沈沒した其の損害も船體が約一千圓で積荷の原鹽は一千三百圓に當る慶田組の第六川內丸も石炭四十噸を積載のまゝ海州棧橋で沈沒した其他辛ふじて沈沒を免れたるもの或ひは大破損のもの等を並べ立てると限りが無い總數約十四五隻はある其の損害の額は全部で六千圓以上に達する而かも船計りでなく

海州棧橋が流れ

修繕した計りの稅關鐵脚の客棧橋が洗はれて半分は骨計りになると云ふ有樣之等の損害を合はすると實に一度の風に一萬圓は吹飛ばされた事になるとは誠に以て厄介な港である（仁川）

職工の小供が自動車で通學

▼事業界の殷盛に伴ふて

近來メツキリ優遇される樣になつたのは各工場の職工である一般に職工と云つても月俸三百圓と云ふ樣な高等官待遇を受けて居る職工もあるが自身の出勤送迎は兎も角として子供の學校通ひを自動車でやらかすなんて素破らしい勢だ夫れも內地なら未だしも

▼西鮮の開港場　鎭南浦に於ける現狀だから恐縮する目下久原精錬所職工長屋に居住する職工の子弟が二十四五名ある是れ等の子弟が今日二十數町の道を學校通ひは此の寒空に嘸辛からうと會社では職工優遇の一策として二回宛に是れ等の兒童を朝晩學校に自動車で送り迎へして居るので無邪氣な小供等は重り合つて毎日嬉々と誇らかに學校通ひを樂んで居る他の兒童等は却つて職工の子の境遇を羨望して居るそうだ

金融大膨脹

一躍二倍の增加

奉天金融は今春來新諸會社勃興と各地貿易增加、建築界の旺盛なりし等に依りて著るしき發達を遂げ去る十一月末に於ける正金、朝鮮、南滿、安東四銀行の現在預金及び貸出額は前年同月に比し一躍二倍の增加を示したり而して目下建築資金及び銀思惑相場資金等の減少に依り之れを本年十一月末の現在高に比すれば何れも減少して左の如し

	十一月末現在	前月比較
預金	三、四五〇、五五一、六〇四	減一三六、七〇〇
貸出	九、五五六、八〇六、〇四〇	同五五三、一〇〇

南滿製糖開始

過般來諸般の準備に努めつゝありし奉天南滿製糖會社にては道路よ工場の器械取附完成せるを以て來る十六七日頃より作業を開始し本年の收穫に係る滿洲甜菜の製糖に著手すべしと

煙草賣行旺盛

最近哈爾賓地方に於ける下級煙は著しく欠乏せる爲め目下同地商人は現金を携へ來奉して盛んに購入せるより下級煙は東亞、ウラスト煙とも落し販賣商の增加を見たりと

大連より

○近時滿洲に於ける成金風が社會風教の上に毒害を流すは識者の間で深く憂ふる處なるが殊に依賴なる少年の輿へる患害は更に一層甚だしきものあり

○常に時代思潮の謳歌者であり先驅者である青年は亦之れより來る利害の最初の享受者でなければならぬ故に燃ゆるが如き彼等の慾望は絕にすべくを逸樂と擬勢とに向つて集注し傾倒す

○成金者可なり其の志行堅實に足るものならば其の後進者を鼓勵せしむるの表鑑となり自助克己の模範ともなり青年の思想を鞏固ならしむる所の如き成金なんには多々益〻世に多からん事を望む所なり而して大連に來りて青少年が富貴に憧憬するの熾烈なるに何人も一驚を喫する處なるべし富貴に憧るゝは可なりされど彼等の言ふ處を聞けば長嘆する前に一罵倒を禁じ得ざるなり曰くモルヒネ曰くコカイン曰く賭博

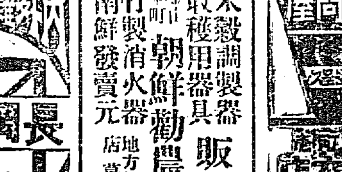
○前者滿鐵及び郵便局等にて邦人勞力の缺乏甚だしく極力之を募集すれども應募者は需用の半をも充たすに足らず而して邦人の勞働者漸く激減せるかの觀あり然らずして下等下宿に[illegible]

白山黑水

▲滿鐵本線から[illegible]四鄭線即ち鄭家屯に連絡した鐵道は最初滿鐵から五百萬圓の借款で建設に取りかゝつた處それでこれが補塡の爲めに新たに千五百萬圓の不足となつた▲それを延長する計畫があるから鄭家屯から北に向つて洮南に延長する豫定線は最初[illegible]開啓に進める[illegible]

▲滿洲は九日來の大雪で奉天では十日の朝著く列車が延著▲京奉線も二時間遲れ安奉線も一時間餘遲著いよ／＼滿洲らしくなつて來た▲奉天南滿製糖會社北側の西宮農場では先日集つて收穫の會を催ほしたさうな▲農場で穫入れた汗のかたまりの作物を調理して樂しく一同が語りあつたのは洵に和氣に滿ちた美しい會であつたさうな▲奉天新市街に新しく出來た朝鮮銀行の出張所では、いつも他所から横やな電話がかゝる▲それが決つたように『おい女が居るか』とか『酒があるか』とかの嚴命で行員は頗る恐縮の態▲何んでも此の電話は以前附屬地の『いろは』のもので一時小西支店長の宅に讓受けてさん／＼酒の御註文を承りまた／＼出張所が承つてゐるのださうな（奉天）

忘年會新年宴會は破天荒の大勉強仕候間多少共御用命仰付被下度奉願上候
京城本町二丁目（元千代本）跡
梅の家　赤星きみ子
電話七三四・七三五番

日本一の評ある
雄飛號
自動式裂縫機

製造元　大阪西區
說明書無代進呈

日本大賣出中

競賣廣告
支那書畫骨董及朝鮮器物數百點競賣仕候間御繰合御光來被下度候
時日　十二月十五日下見　同十六日より競賣
場所　京城本町旅館裡
京城美術俱樂部

金銀諸
黃銅鈴、齒科用金箔、無地金屛風、押紙
右各種製造販賣
京都
至善堂
東京市神田區五軒町一番地
米山商店

自動車讓物

自動車運轉手
自動車學校

職業
上田總本店

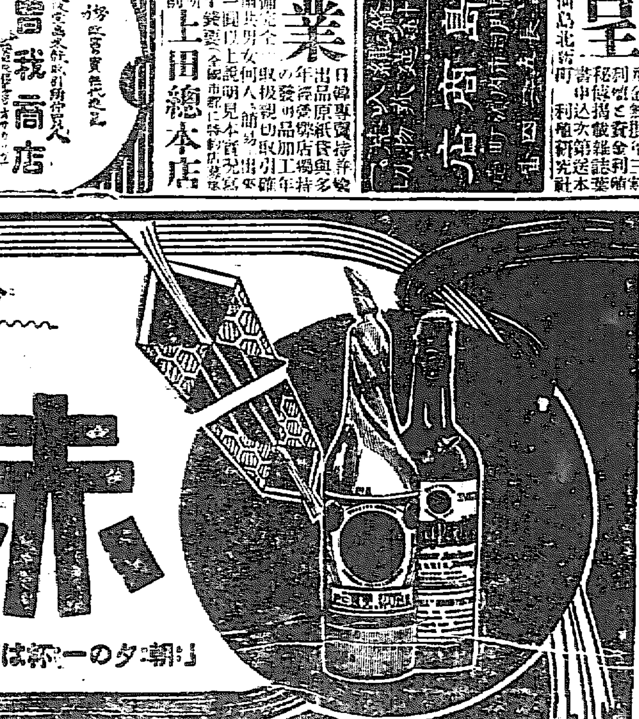
進呈

米穀調製器
收穫用器具
朝鮮勸農商會

洋酒
罐詰
卸商
釜山長手通
あづまや商店

洋菓子洋酒
卸問屋
ミトヤ商店

內外雜貨
冬物全部揃荷
近藤商店
釜山本町三丁目
電話長七六八番

今年も亦歲暮年始の贈答品には買つて重寶な赤玉が一番!!
置けば置く程品の良くなる美味滋養一葡萄酒
赤玉ポートワイン
「朝夕一杯は百藥に優る」之れからの寒さにも不思議に体温を保ち血色をよくする美味滋養の葡萄酒!!


△十四日前場
大阪前止め小高く後寄更に小高き
入電に先十九圓八十六錢と二錢高
中守七錢で五錢二節中二十錢六錢
△先限一節十九圓八十六錢七錢六錢五錢二節八十五錢六錢十錢八錢三節八十六錢七錢四節八十六錢七

左甚五郎

第百十三席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

短随は亀田屋武兵衛に意見されて暫時涙にくれて居ましたが 短『御尤もでございます、海に不作でございません、海に不作でございます故立行きがつきませんから不作とは存知ますが途此方様へ持つて来て御無理を願ひます様な譯 武『其故失禮な申し分だが大した商ひも出来まいから、資本金は貸さんでも遣るが宜い、資本金は貸すと云つたら返さなければならないから、少し位は上げるよ、然うふことを思ひついたから遣つて見やうと思ふことを何でも始めたら宜からう 短『へエ』 武『それが一番だ、彫物師は迚も叶はない、然し餘計なことを云ふと思つたら夫れまでだが、大道商ひも賤だ、面を晒すのは賤だと思つたら寧そ死んでしまつた方が一番早いけれど、お前には腹を切ることは出来まい、猶且ブラ下るんだ、圖は惡けれどもブラ下つておしまひ 短『へエ』 武『細引が無ければ一本持つてお出で 短『へエ有難う存じます 武『阿母さんは老人のことだから俺が引受けて遣る、後に心を遣さずに死んでおしまひ 短『有難う存じます 武『ブラ下つて死なうとも、商買替をしやうとも、二つの内何方でも宜い方にするが宜い 短『へエ』と短随は涙を一ぱい目に溜めて表へ出て行きました、亀田屋の女房は側に聞いて居りましたが 女『お前さん、何だつてあんな酷いことを云ひなすつたので、可哀想に若い者が涙を溜して表へ出て行きました、自宅へ歸らないで途中でドンブリと河へ身でもやつた節には大變で 武『何ァに大丈夫だ、あの男も骨を折つて遣れば出来ないことはないのだ、仕事が無いのだから仕方がね、今に又何とか云つて来るだらう』と亀田屋武兵衛は気にも留めずに居りました。此方は短随、[illegible]

[illegible]が遅いから何うしたかと案じて居ります處へ、悄然として歸つて参りました 母『お前何うしたね、顔色が悪いが何うかしたかね、大層遅かつたね 短『横山町の姉さんの處へ寄つて種々話しをして居たので遅くなりました 母『あゝ然うかね 短『阿母さん、藪から棒にこんなことを云つては済みませんが、去年から友達が相談をして無盡を一本拵へて、其の無盡が二十兩取りで、誰が當つても其のお金を半分宛引いて、男は伊勢へ行つて来なければ人間になれないと云ふ位ゆゑ、伊勢参宮をしやうと思つて居たので、今度經師屋の源吉さんが當つた處が、此のお金を家へ置くと直無くなるから直ぐに出掛けやう、品川で揃つて伊勢参宮をし、序に四國へ行き金比羅様へ参詣をして来やうと云ふのですが、阿母さん済みませんが歸つて来るまで横山町の姉さんの處へ當分行つて居て下さいまし 母『短随お前噓をお吐きでない 短『イエ噓ではございません 母『それでも無盡の出来た話しも聞かせないで、今日そんなことを云ひ出したのは何か理由があるだらう、[illegible]泣いたり笑つたりさるやうな事でない、何うしたのだね短随 短『サア阿母さん、お話をいたします、亀田屋の旦那の處へ錦物を賣りに行きました處が、あの旦那のことだから毎時の通り二朱で買つてくれまして、[illegible]死んでしまへ、死なつたで[illegible]首を縊るやうなことは出来まいから[illegible]一本持つて行けといふので種々意見をして下さいますから、それから姉さんの處へ行つて其の話しはしませんが阿母さんを當分引取つて下さいと話しをして来ました、何卒思召して諦めて下さいまし』と[illegible]に済みませんが親不孝な者だとハラハラと涙を流しましたがその心情は實に憐すべきものでございます

日暦

十二月十六日九星 舊十一月二日壬辰 本命二黒坤定赤口

[illegible]

月やく

月やくとまり月経不順の爲め何となく工合悪く心配の方は早速申込あれ人にお知らせ無き妙薬あり三圓切手送りで申込あれ

東京市四谷區傳馬町　森田屋

易

周易　明治町二丁目　介石堂　岡村介石

演藝案内

稲荷座

本町五丁目

博多仁和加劇松葉居組一座 十二月十二日より
▲一番 妙な親分 ▲二番 教育劇間當り ▲三番 餘興文人手踊 ▲四番 侠の藝者

壽舘

京城本町 電話一〇五〇番

大正舘

黄金町 電話八七三番

新派悲劇「鹿笛」全三巻
新派悲劇「呪の戀」全四巻

黄金舘

電話二六三七・二三六六

浪花舘

明治町二丁目 電話二六〇番

有樂舘

東京小林商會活動寫眞常設舘

新派 鹿笛 ／ 旧劇 唐犬權兵衛 ／ 新劇 呪の戀 ／ 大正舘

戯泉 撫尾 大寫眞 提供

[illegible]

美味なる 虫下し 最良薬

定價 五錢・十錢・廿錢・五十錢

岩崎大海堂セメン菓子

美味なる 虫下し最良薬 さんとにねくわー

商標 西珊篤尼涅菓子

大阪天王寺烏居前角 本舗 岩崎大海堂 ▲内外薬店にあり

▲虫下し[illegible] ▲胸あしく ▲腹いたみ ▲夜なきの虫 ▲蟲で驚風の蟲

かぜねつに一番よくきく キナピリン

●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり

定價 〔十包入〕二十錢 〔五包入〕廿錢 〔十五包入〕三十錢 〔三十二包入〕五十錢 〔六十包入〕壹圓

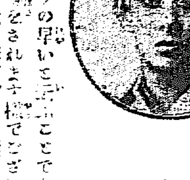
本舗 大阪市堂島元蜆橋 高橋盛大堂薬局
發賣 東京市神田區柳町 高橋盛大堂出張所

●各地到る處の薬店に販賣す

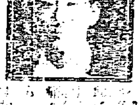
早化粧の話

忙しい際うつてつけの化粧　簡易に美くなる化粧の手順

市村羽左衛門談



[illegible]顔のつくりの早いと云ふことでよく[illegible]ますから今日は早化粧のお話をいたします、[illegible]お化粧はいるかせには出来ませぬ[illegible]なか出来ないものでございます[illegible]



[illegible]しますと一人生彩のある化粧振になりましたら、汚垢の浮脂が溶けて肌にこびりつけましてこれを見はしまへ、此の化粧を終りまへ塗りまして静かに撫でますと、此の泡を湯で洗ひ流しますと汚垢は吸はれる様になつて肌が[illegible]したらば乾いた手拭を指先へ巻き、汚垢は吸はれる様にならうから此をお湯で洗ひつけまして生際、眉毛、睫毛、小鼻に泥りますから、此をお湯で洗ひ鼻、鼻の穴、唇などに塵つて居りますから浮粉を軽く拭き取りまして、指に紅をちよつとつけて口紅をさし、其の餘りで目の縁をぼかしますと美しい化粧が出来上りますのです、白色の粉白粉を刷きつけ、目の縁と頬へ淡紅色の粉白粉をぼかし紅をさすと云ふ至つて簡便な方法で肌からの白さに美しく見せる様にしますのですから、お化粧の土臺になります地肌が餘程よくになつて生々としてい色澤になります、此の生々としてい色澤を作りますには前申しました皮膚へミツワ雪の雫を塗りまして白粉になります手順は前申しました様でございます、此からは寒くなりますだけに肌も荒れがちでございますからミツワ石鹸を使つて汚垢のない様にしミツワ雪の雫を必ずお使ひになる様にしますと肌の荒も知らずに過せます。

レートポマード

赤毛を生ぜしむるの憂ひ絶對になし

此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には髪附が全く不要!!

それ程附け工合こいひ、匂ひこいひ一點の非のない最新式の煉香油です

東京 平尾賛平

男の生殖器病

生殖器短小、包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、神經衰弱、手淫及過房等による諸症の人は自宅で簡單秘術に新案特許眞空療法器を使用せば速に効力現はれ、豫想外の偉効に驚くべく二大博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如し、ハガキで申込めれば圖入說明書を無代密送す
▲發賣所にて[illegible] ▲にて懇切說明す

東京神田區小川町五 電話神田七三三番 東京眞空療法研究所

産科婦人科 二宮醫院

京城壽町 電話一二〇一番

醫學士 二宮完吉

酢の素

お手がるな 酢の素

御料理用にぜひ一瓶なくてはならぬものにて[illegible]の需なりとす[illegible]品にして本邦に於ける[illegible]品質の優秀なる事は夙に[illegible]皆様御用ゐ[illegible]食料品店にあり

製造元 近畿商店 發賣元 大阪 小西商店醸造部

瀬戸外科皮膚科醫院

京城旭町二丁目（電話三丁目）電話二四九八番
（診察夜九時迄）

醫學士 瀬戸潔

古城賞化堂

優良の薬品と賣薬が揃つて居ります
ウヲラ化粧品代理店ですから……御値がお安いです

京城本町二丁目角 電話一〇二二番・七〇五

開院 京城 久枝肛門病専門病院

昨秋来京城長谷川町安東病院に於て痔疾患者之診療に從事本年四月以来滿洲漫遊引續東上中之處患者各位の懇望に依り再び左記之處に於て診療に從事可仕候

◎痔疾專門◎
□いぼぢ□だつこう□じろう□はりぢ□さけぢ□かゆぢ□ねけぢ□こうもん（結核、梅毒、淋毒）□こうもんきようさく□痔疾神經衰弱

入院隨意
京城明治町二丁目三十二番地 元朝鮮實業會社跡（電話二一〇二番）

院長 久枝秀喜

金露

攝津灘 大塚醸造所吟製

發賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

貯蓄預金

元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番・五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

汽車

[illegible]

京城日報 第五版 十五日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

支那漫遊

蘇峰生

十一月十六日

回顧すれば、予の東京を發したるは、九月十五日にして、已に二ヶ月を經過せり。予定も遂に從はざる也。但だ歸朝の日に迫るを覺ゆるのみ。

※ ※ ※ ※ ※

昨十六日の夕、段内閣總辭職の北京電報に接せり。未だ其の精確なる通信を得ざれば、評說するに由なし。但だ予は十五日の夕、南方派領袖の一人、譚人鳳氏に對し、貴下の高論卓議は、兎も角も、予の所見によれば、北京に於ける政府筋各銀行の、紙幣の大暴落は、確かに政界の變調を豫告するもの也。一旦段内閣瓦解の日に際せば、諸君は其の善後策に於て、遺憾なき手と切り込めあ面むて、今や[illegible]報を聞く。予は北京に於て、段祺瑞氏其人が、餘りに自から用ひ、孤立援なきを知れり。恐らくは今後何人が、内閣の衝に當るも、先づ北京政府丈は、馮國璋の天下たりと見る可きに似たり。

※ ※ ※ ※ ※

十一月十六日、内、外綿會社に赴き、取締役武居綾藏氏の案内にて、其の工場を見る。工場は蘇州河に臨み、紡績兩所あり。合計約十二萬錘と云へば、大工場たるや知る可し。武居氏は、上海に於る今利の高きと、日本内地の商法を、杓子定規に適用せらるゝとに就き苦情を陳べたり。何れにしても日本人が、支那に來りて工業を起すは、單獨にせよ、支那人と合辦にせよ、最も獎勵す可き事也。

予は武居氏に向ひ、折角紡績會社を起す程ならば、願くは一歩を進めて、其の原料を精選ならしむる爲めに、棉作改良會社を設けては奈何。それには口舌の能くする所にあらず。自から支那に於て、大農園を經營し、支那人に向て、其の模範を示す可きのみ。支那の棉は無盡藏也。今後蒙古、及び新疆に耕作せらるゝに到らば、更に無盡藏也。果して此を改良せば、復た印度、米國に頼るの必要なしと云へり。蓋し今日支那綿の缺點は、量にあらず、質なれば也。

[illegible]路知也。久振りに邂逅して、[illegible]を突きつゝ、無遠慮なる熊本訛で快談す。亦た一興也。此[illegible]の如くにして十六日は了れり。予は今朝より杭州に赴かんとす。次は西湖の畔より發せんことを期す。（大正六年十一月十七日上海に於て[illegible]）

[illegible]寄書者、諸君等、島田君、大島君等皆予に[illegible]節に於ける同郷人會に臨む。[illegible]來[illegible]に頼る。變[illegible]にして、[illegible]予が面謁するに値ひあり。[illegible]其[illegible]に謝を述して賂らる。[illegible]一部の若手が盡力して[illegible]の合作をして、予に賂らる。[illegible]の諸君子と相[illegible]見ば[illegible]。

[illegible]する。亦た是れ[illegible]上海に於ける[illegible]現象たるが如し。

朝鮮古墳の變遷（十三）

八木奘三郎

歷代古墳の變遷（續）

以上論ずるが如く、撰石を以て或は高句麗古墳となし、或は其風日本に傳はれりと云ふ者は其に採る可からず、然れども何れが先史代民族の遺跡を發けりやと云ふ點は尚ほ研究を要するに就て、不本意ながら、予は之を後に讓る所あるが故に其次に撰石の種類に就て略述す可し。

撰石の墳を造り其上に片石を積むで擴げるもの、又大なる平石を其上に籠形の石棚を設けるもの、其上に大形の平石を置けるもの、之を二樣の別あるは予先年之を云へり、而して此二者は同時代の採用と思はるれども、隨所の例によれば石棚ある古墳は普通の積石塚に比して其時代更に古しと云へり、去れば朝鮮の分も其發達上孰れか前後の別あらんが、日本の例を以て之を考ふれば矢張り机石風のものを古くして、積石塚の分は後なるが如し、去れども前式興つて古式亦[illegible]せしもの、是等は徐々と發達せしもの、如く、又一地方に興つて諸方に擴がれる形迹あり、然るに朝鮮は支那族の如き文化向上の人種と接近し居るが上に、他方面に[illegible]鎖を求む可き點なければなり。

之に就て予は前條の如き推論すれども[illegible]に依り以下其次第を記述するを要する事多きを以て茲に詳記すること能はざる可し。支那墳墓の沿革論は頗る長篇に涉るを以て[illegible]。

[illegible]の丘墳を造り初めたることに就ては大に攻究せざる可からず、予は此起源を以て祭神の發達物より漸次移り來りしものならんと信せり、此事は更に後段に說く可きも、前記の机石に似たる撰石が萬一最古の形式なりとすれば、獨り更以て拜壇又は供御用の卓机に類する點あり、勿論撰石の[illegible]

[illegible]文化の發展に伴ひて[illegible]、元來不封不樹の葬風を行ひし漢族が、彼の丘墳を造り初めたる[illegible]でしか、今假に判斷を下し難しと雖も、後世山神祭に石壇を設くるは[illegible]人の風習よりすれば最後の目的に出でしと同時に此平石丈は初めより露出の儀なりしかとも考へらるゝなり。

京日詩壇

○雪曉　波邊凌雪

挑曉雪堆僦雀群、山河萬里總歷氛。煎茶一椀心神爽、塊塊高樓松鶴聞。

評曰雅有韻致。

○題猴虎圖　高田小苓

犇軍一箭若流星、得意横弓勝獵亭。一陣疾風飄木葉、巖際有血錦毛腥。

評曰飄忽跌宕、何等手法。

○儒達山　在京瀨戶川開井默鄉

奇石磊砢儒達巓、登臨遠指水雲連。蜒巖半島稻黃地、木浦城頭棉白天。

跳處絕域外、數帆[illegible]乃夕陽邊。南鮮第一絕佳境、仙客來遊千萬年。

評曰實景如畫、前聯殊可誦。

京日鮮滿便覽

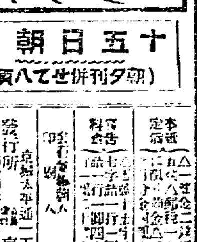
◇京日鮮滿便覽は四六倍版百餘頁の製本美麗高雅なる小冊子にて世間普通の案内書等の如き比に非ず

◇材料正確細大を漏さず一見鮮滿の縮圖たるが上に多數の鮮明なる寫眞版を挿入し錦上更に花を添へ鮮滿の事情を知らんと欲する人鮮滿旅行をなさんと欲する人には特に一時も放つべからざる必要書

◇月極讀者に限り無代進呈す本誌は十二萬部の印刷配布をなすが故に其廣告の有効なる事は本社の保證する處也賢讀者廣告依賴者は速に申込べし

大正七年一月元日京城日報附錄

京城日報編輯局地方部調查編纂



そうして

布施生譯

十五

國柄はもかし心の中では仰名の[illegible]一つ陰謀[illegible]を思付いた。「忠」に驅られとどうかしてやらうと、探偵長を出振いて、ここで前夜武烈家の[illegible]頭を[illegible]つてゐた數[illegible]を[illegible]へて、[illegible]晩の十一時から一時頃まで[illegible]の小門から[illegible]たかと[illegible]ねてみると其[illegible]明は[illegible]って、「いゝや、そんな[illegible]は無かつた」と[illegible]な話をして[illegible]よ、しかし富田が妙な話を[illegible]してゐたつけ、これは[illegible]話を「[illegible]なあに富田の奴、[illegible]夜番で[illegible]の門の[illegible]の傍に立つてゐたんだが、十二時頃[illegible]だと思ふと男[illegible]人[illegible]になつた一人女[illegible]がさう云ふ一組が通りかゝつたが、富田の姿を見ると急いで[illegible]行に分れて男は[illegible]の道へ引返す。女は急足に富田の方へ寄つてきたんださうだ。富田の奴相變らず間抜だあね、不思議な事だと思ひながら悠然立つて待つてゐたんだつて、すると女は富田の傍まで來ないうちに武烈家の門まで來ると不意に立停つて門をあけるやうな手樣をしたんだ、と見る間にはつと恐怖ゐて飛退きながら兩手で顔を隱したんださうだ、そして富田が、おやと思ふ間に素來た方へ一目散、富田め自分も面喰ひながら、何で女が驚きやがつたのかと覗いて見ると驚いたね、邸の主人が異な顔して門格子からぬつと戸外を覗いてゐたんだつて、富田の野郎吃驚しやがつて一足はつと後退りするとこの主人の姿はすつと消ゑて無くなつたんだ、跡から富田め門を推してみたが確固門が鎖つてゐたさうだ」「そりや全體富田の口から出た話かい」「さうさ」[illegible]

[illegible]

十二月の星（現代の科學）

（○翁　記　抄）

▼水星（辰星）　初旬に日沒後約一時間に西に沒し、十七日には見えず、最も太陽に離れ、のち次第に太陽に接近す。

▼金星（太白）　宵の明星にして日沒後三時間に西に沒し宵の西天に最も著しく光を放つ、天球上山羊座中に在りて東方に運行す、十八日には月と接近す

▼火星（熒惑）　夜半の頃に東に現れ、獅子座に在りて東行す。七日に月と接近す

▼木星（歲星）　日沒の頃東天に現はれ夜中に運行し始めて著しき光輝を放す。二十六日には月と接近す

▼土星（鎭星）　日沒後數時間に東天に現はれ次第に顯著の便な宿しつゝあり。蟹座中に在りて一等星大の光度を放ち徐々に西に逆行す。四日及び三十一日月と接近す

英語活用者に最も必要なる

富岡徹先生著

新英和辭典

一切の條件を完備せる理想的

英語辭書を購はんとする人は先づ本書を一見して後決定せらるべし

（天地八寸八分巾三寸二分　紙數一千四百八十餘頁　總布製金文字入金箔　定價特價金壹圓八拾錢　郵送料内地十二錢）

著者は在來の英和辭典が徒らに語數の多きのみに汲々として實用に適せざるを慨し不必要語を全部省き悉く必要語を以て充たされ然も全卷の絕對的統一を期せんが爲め拮据獨力實に十有七年の星霜を經其間常に細心なる注意の下に科學的進歩に伴ふ新語は一句も洩さず檢を重ぬる又實に十幾回茲に最も理想的辭書の實現を見るに至れる也

（内地及朝鮮各地書肆にて御申込を乞ふ）

振替京城二一一七三番　電話六八四番二〇八六番

滿鮮一手特約　京城本町　大阪屋號書店

東京市日本橋區通油町　振替東京二四九七　電話本局三六二一　新英和辭典發行所昌文館

第二卷　國家的大辭典第三卷發行

大日本國語辭典

上田萬年・松井簡治兩先生共著

大本全部四卷

凡ての書籍は本書を備へて始めて權威あり

國語は國民の[illegible]大なる國語を[illegible]一國の文化を[illegible]

既に一般家庭に確立せられたり。實に本書は我國唯一の標準的國語辭典として國民の必讀す可き[illegible]重要なる資格を有する[illegible]國民教育の根本たる國語教授の基礎たるもの也

第二卷　[illegible]一萬部　特價金六円

内容見本進呈

東京神田　冨山房　振替東京五〇一一

東京日本橋　金港堂　振替東京八八一五

社員招聘

内務部主任記者　三名
外務部主任書記　五名
支部代理店取扱
所主任、外務

右採用す[illegible]

[illegible]

▲雜貨洋酒食料品菓子類洋食器類其他御贈答品各種澤山取揃居候▼

歲暮大賣出し

[illegible]

京城本町二丁目　電話[illegible]

龜屋

[illegible]米　[illegible]期

中根三節二十圓十錢 一十九圓八十六錢七 八十五錢六 [illegible]

△先限一節十九圓八十六錢七錢 二節八十五錢六錢七錢八錢 三節八十六錢七錢四節八十六錢七

平均値段 一節 十九圓八十七錢 二節 十九圓八十七錢 三節 十九圓八十六錢 四節 十九圓八十六錢

本紙定價 一ヶ月金五十五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 [illegible]

○南北調停成立か

南北の調停成立せりと傳へらる是より先李純氏は南方の意見を政府に開陳する處ありたりと(北京特電)

○唐繼堯平和賛成

唐繼堯は平和に賛成の旨十一日馮總統に通電したり(北京特電)

○陸氏福建討伐か

陸榮廷氏は目下病氣と稱し南寧に引籠り居るも蒋りに兵を集めつゝあり之福建省討伐の計畫なる可しとの報あり(北京特電)

○米國對墺宣戰 危險人物抑留

大統領ウイルソン氏は米國が墺匈國と交戰狀態にある旨を宣言せり大統領は危險なる墺匈國人の抑留を命じたるも其筋の報告に依れば多數の墺匈國人は産業に從事し若しくは軍務に服して米國に對する忠誠を示し居るを以て墺匈國人に對しては獨逸人に適用せる制限の一部を撤回せり(華盛頓電報)

○過激派の軍隊と交戰 烏合の衆より成る數個大隊

七日夜より八日に至りビエルゴロド附近にて烏合の衆より成る數個大隊と水兵及びクリレンコ將軍によりて北方より派遣されたる裝甲列車及びカルコフより來れる一隊の歩兵等より成る過激派軍隊との間に戰鬪行はれたり此の戰鬪中クリレンコ將軍は自らビエルゴロドに到著せり双方の損害甚だ大なるが鐵道同盟會の報告に依れば烏合の大隊は敗北せりとカレヂン將軍より派遣されたる哥薩克兵增援隊は今や來援の途上に在り烏合大隊は陣地を撤してツボーニン將軍の訓令に從ひ高架索に赴かんとすと發明せり(倫敦電報)

○レーニン軍潰亂敗走

レーニン軍はカルコフの南方にて死傷五百餘名を出し潰亂敗走せり(倫敦電報)

○土耳古皇帝病む 心身過勞

土耳古皇帝は心身過勞の結果病氣に罹り病蓐に呻吟しつゝありと(倫敦電報)

○首相西侯會見

寺内首相は十三日中大磯に赴く筈なるが同地滯在中の西園寺侯と會見す可し(東京電報)

○青山博士授爵

目下病臥危篤中の青山醫學博士に對し十四日左の通り授爵の御沙汰あり

宮内省御用掛東京帝國大學醫科大學教授從三位勳一等醫學博士 青山胤通

勳功ニ依リ特ニ華族ニ列シ男爵ヲ授ク

右に就き同博士代理入澤醫學博士は十四日午後三時參内宮中南溜の間にて御沙汰書を拜受せり(東京特電)

○出兵否認 外務當局言明

外務當局の言明に依れば日本が浦鹽に出兵せる事を在米日本大使館が確認せりとの外電は全く根據なき風說に過ぎずと(東京特電)

◎露國混亂狀態

イルクツク商會主任伊藤央春氏談

……利亞沿線は總じて平穏なる中流以上の露人多くケレンスキー派と帝政派と相伯仲し過激派は頗る少……か最も人望あり實力あるはポタビン氏の外なからん

▲イルクツク警戒 ……息荒く人心恟々として夜間の外出には現品を殆んど買り盡し閉店するものにて甚だ遺憾に堪へず……杯にはピストルを携帶する等自衞……の途を講じつゝあり……も物騷からざりしが閉店後に於ける商店は悉く支那商人の手に歸……

▲物價五割騰貴 ペトログラードも哈爾賓も……あるも平均五割を見て大差なかるべし古外套一枚が哈爾賓に於て五……るもオムスクは五……

○遣米議員歸朝

政尾、山根、楠原、望月、島田の五代議士一行の遣米議員團は十四日午前一時横濱に著同十時東京驛に著せるが各派代議士等の出迎ありたり十五日は午前十一時議長官舍にて報告會ある筈なり(東京特電)

○五代議士新政會脫退 金杉英五郎氏等

新政會代議士金杉英五郎氏以下四代議士は十四日衆議院事務局に脫會屆を出せり(東京特電)

▲脫會の理由 維新會以來新政會の中心を爲し居たる金杉英五郎、若尾璋八、越山太刀三郎、吉村鐵之助、吉田三郎右衛門の五氏は新政會を脫したるが右は實業家として純無所屬の立場に居らん爲めなりと(東京特電)

○大阪電燈增資 四千萬圓

大阪電燈株式會社は十四日二千百六十萬圓を四千萬圓に增資するに決定せり(大阪特電)

◎土地査定の終了(上) 臨時土地調査局事業の進捗

和田土地調査局總務課長談

▲土地所有權の査定 土地調査事業は其の後順調に進捗し、去る大正二年度に於て全北沃溝府外八市街地の土地所有權の査定を擧行したる以來引續き之を一般の郡部に及ぼし鋭意調査の促進を期したのであるが、郡部の査定は大正三年十月の始興郡を始とし本年十二月下旬に査定すべき平北の六郡、咸南の二郡及び咸北の三郡を最後として茲に全道の土地所有權の査定は全部之を終了する譯で、此の間歳を閲すること約三年二箇月である、尤も十二月下旬に査定すべき地方の中で龍川郡の薪島だけは冬期結氷の爲來年の四月頃迄交通が杜絕する爲簿書の公示をしても閲覽に來ることが出來ぬから、同島の査定公示は特に之を明春の解氷期迄延期したのである。全道の査定を爲す土地の總筆數は實に千九百十萬七千五百二十に上り其總面積百四十六億千三百五十一萬九千四百七坪であつて一筆の面積は平均約七百六十五坪に當るのである、又地主の數は約二百七十三萬人許りになる勘定で其の一人當の所有地は平均一町歩半となる次第である。

▲各道の比較 今各道の調査面積及び地主數を比較して見ると大體に於て最面積の廣いのは咸鏡道の十八億四千餘坪であつて全羅道に踵ぎ忠清北道の約五億三千坪が最少面積を示して居る道の總面積としては咸北最も廣く江原、咸南、平北之に次ぐのであるが山林など多き爲耕地面積としては上述の如く割合に低位にあるのである、又地主の數は大凡耕地の筆數に比例して居る樣であつて一地主の所有地の筆數は約七筆計りになる。地主の最多數なるは全南の約四十萬人で慶北、慶南、京畿、黃海、全北、江原、忠南、平南、平北、忠北の各道之に次ぎ咸鏡北道の約六萬餘人が最少を示して居つて耕地面積と地主數との比例が大小しく異つて居るのは主として土地の配置關係の相違に因るのである。

▲地方委員會 此の委員會は土地調査局に於て權利の査定を爲す前に於て一應調査の結果に付き諮問を爲す機關であつて道長官以下地方の重なる官民を以て組織せられて居る、本局に於ける部の調査に關し委員會を開けると前後八十四回、各道共少きも三回多きは十回以上に達し土地調査に關する地方官民の努力も亦甚だ大なるものあることを示して居る

◎混亂せる露國の近狀 紙幣の濫發＝全くレニンの天下＝擧國平和を希望＝劍呑な鐵道

(長春特電)十三日夜露都より歸來せし今村駐露財務官及び露都出張中なりし股野朝鮮銀行理事兩氏は交々語りて曰く『現在露國の經濟狀態は混亂中にありて大藏省國立銀行等總て過激派の占領する所となり爲めに統計其他財政內部の狀況を外部に發表する事を避け居れる爲め知る事能はずされど

▲紙幣の濫發 は其極度に達し獨逸に依りて撒布せられたる僞造紙幣或は民間の僞造の如きは寧ろ歡迎し居れる狀態にあり其の理由は今は全く紙幣の用紙が極度に缺乏せる結果に依るものなり然れども民間の各銀行は頗る多忙にて預金の如きも多額に達せり一般商人の富は非常に增加せり幵は農家は穀類暴騰にて大儲を爲し商人或は製造工業者は軍需品にて巨利を占め勞働者は勞銀暴騰し兵士の給料多額となれるより何れも相當の富を蓄へたり獨り窮境にあるは政府にて極力不換紙幣の增發に依りて辛ふじて

▲一時を彌縫 せり十一月七日の冬宮攻擊後ケレンスキー氏は所在不明なり今は何處に逃れたるや未だ杳として全く露都はレーニン派の手中に歸し未だレニンに對し反抗を試みる者無しされど各國大使はレニン政府を認めず又一時共產主義と戰爭講和にて人心を收攬せるもレーニンと云ひケレンスキーと云ひ全くの深謀無ければ孰れ以上の或者の出現を見ざれば

◎日露電信不通

京城中樞の日露電報は九日以來興以北の露領にて不通となり居る爲めに浦鹽と内地間に發著する電報は臨時浦鹽長崎間の海底電信線によりつゝありと

◎鐵道工事概況

十一月中朝鮮線鐵道建設及び改良工事概況左の如し

▲京釜線

(●)金泉秋風嶺間線路改良工事(十哩一分)土工々事四分通、橋梁工事五分五厘通、隧道工事(太平隧道延長一千九百八十呎導坑掘鑿一千七百五十呎)にして總體を通じて四分五厘通成工

(●)秋風嶺永同間第一工區線路改良工事(六哩八分)土工々事四分通、橋梁工事五分五厘通、隧道工事(黃澗隧道延長二千三百四十三呎導坑掘鑿一千百三十二呎)にして總體を通じて三分通成工

(●)秋風嶺永同間第二工區線路改良工事(六哩八分)土工々事二分、橋梁工事一分、隧道延長一千四百十九呎導坑掘鑿千四十三呎)にして總體を通じて一分七厘成工

(●)伊院停車場… [illegible]

▲湖南線

十一月二十六日竣功

(●)金堤四街里線路改良工事… [illegible]

▲咸鏡線南部

(●)龍興江橋梁改前後土工其他新設工事 [illegible]

△獨軍の主力

は露獨戰線に在らず只少數の守備兵の殘れるのみ全露國上下の國民は只一日も早く平和の來らん事を希望せるより現在露國は活氣と危險とに秩序全く破壞せられつゝあり之れ等一行が露都を發したるは十一月二十七日にて哈爾賓に著せるは本月十日なり延着せる事八十六時間なり此は各驛にて兵士の暴行或は機關手の泥醉に依る相違ひ等有る障碍ありて哈爾賓に無事著す可きや否やを危みたる程なりき次の急行車は到著するや否や至らんかと一行は十四日夜京城に著し今村財務官は同地に二泊の上歸京す可し

◎寄附と表彰

左の諸氏は何れも赤十字社の主義を贊同し規定の寄附を爲したるに依り此程頭書の通り表彰せられたり

有功章授與 皇后陛下御歌下賜 特別社員推薦 仁川 淺松太郎

同 同 廣瀬正次郎

同 同 荒木助太郎

同 同 內海淑郎

同 公州 道岡增藏

同 光州 金學模

木林賴與 平壤 シー・デー・モリス

◎貨物荷造不完全

例年冬期中は內地行連帶小荷物扱(主として鳥類)の輸送多數なるが其荷造不完全、又容器の脆弱により長途輸送中事故の發生する事屢ありとに付ては鐵道側より荷主へ對し毎年之を注意し未然に之を防止すと雖も尙本年も是等の事故生ずる向あり運送取扱上の支障尠からざるを以て一般荷主は荷造に對し充分の注意ありたしと

◎軍司令官巡視

軍司令官松川中將は來る十七日龍山發新義州に移轉したる歩兵第四十旅團司令部及歩兵第七十九聯隊を巡視の筈

◎軍司令官西巡

軍司令官松川中將は新年兵教育視察及び地理實査の爲め小野寺副官を隨へ來る十九日出發二十七日歸任の豫定を以て新義州、義州、鎭南浦兼二浦地方へ出張すべし

◎古海總長歸期

慶尙南道管內巡閲中の古海總務長は來る十七日朝歸任の筈なりと

◎於青島鰊漁況

於青島附近に於ける小鰊漁獵は十月下旬より十二月下旬迄にして出漁者は……

◎元山の海員試驗

元山に於ける朝鮮總督府の海員試驗は二十日終了の筈なるが試驗官として同地に出張中の伊藤海事課長は二十一日歸京の筈なり

◎明春の醫術試驗

總督府の明春の醫師試驗は例年の通り春季に施行する定めなりしも今回試驗規則改正の結果受驗者增加の見込みなるを以て願書提出期を繰上げ年內に定め書類整理の便宜を圖るべく近く官報を以て發表の筈なり因に明春の試驗施行期は多分三月頃ならんと

◎滿鐵管理局催宴

滿鐵京城管理局にては來る十七日午後六時より千代本に於て饗宴を開き京城記者團を招待す可しと

人事消息

▲今村次吉氏(駐露財務官)十四日夜入京朝鮮ホテルへ

▲股野琢氏(朝鮮銀行理事)十七日夜京城の筈

▲新居公喜氏(殖産局商工課長)十四日夜入京大和館へ

◎露國百題

露國の奇拔な話を御紹介申さう勞兵會の天下となつてから浦鹽あたりでもスッカリ模樣が變つて▲税關で旅客の荷物を檢査する時にも人足共が三等旅客の荷物から先に運ぶさうだ▲是も浦鹽の話だが陸地の或病院で小使共が近頃馬鹿に威張り出し醫員に向つて收益均分の要求をしたると醫員の方では收益を均分するからには仕事も共通にしやうと云ふ案を持出した小使共も早速同意した▲其日から醫員も小使も診察投藥を遣つて見たがサッパリ樣子が判らぬので二三日で小使の方から願ひ下げにしたとは實際談▲露國人の香氣といふ語の口の字も知らない日本人の旅客を捉へて▲而も往來の眞ン中で何處其處へ行くのだが何う行つたら可からうと道を聞くものが日に幾人もある相な▲而して日本人か何うかと巡査に聞けと教へられ困つたのも有る由でブラ〳〵は餘り振ひ過ぎて居る▲其れから露國で一番困つたものは坊主だと云ふ其の理由は從來の政教一致の關係から僧侶は虎の威を假る狐の類で大威張りで▲金を捲き上る工夫計りして居たもので今度彼等の本尊たる皇帝があつたが悲慘な有樣になつたので▲同時に僧侶は誰れも顧る者が無くなつて無能な連中は皆乞食同樣の境遇にたとは可愛想に

▲オムスク避難民 市內に露人の閉店あるも只店頭を貸附……ホテルが三日以上の滯在者は謝絶する方針にて出入頻繁なる爲め一寸の旅行は同ホテルの爲め大いに……

……需三千六百十七圓慶德郡七千八百七十八圓鬱陵島一萬四千八百十三圓合計十七萬八千零八圓にして←

京日案內

外勤社員採用 京城西小門町 光園

三州旅館 譲店 吉田屋

銃砲火藥獵具 京城明治町 瀧川銃砲店

新古ミシン賣買 京城 楠商會

恩給年金立替 西村商會

恩給年金即時 江州屋本店

最新刊 京城南大門外 山口屋

日本神祇史 / 特別保護國寶目錄 / 自然美と藝術美 / 美術の都 / 通俗倫理談 / 徹底 / 禪窓 / 東海道中膝栗毛輪講 / 浮城物語 / ガラタ塔より / 珍ぷん感ぷん / 縮刷一年有半 / 戀と死 / 緣談千里眼 / 目白より

大正七年度當用日記 / 日記全部荷揃致候

大阪屋號書店

鐵引景品附 歲暮大賣出 高尙優美なる 十二月十二日より三十一日迄 歲暮贈答用最適品 化粧箱入 ミツワキヤラメル 金五十錢毎に左の景品券一枚呈上 京城古市町 ミツワ商會

お歲暮には實用向の御進物は 砂糖詰 京城南大門通 上田商店

初春の御樂しみ 第六十七回新債券の提供 桐生屋京城株式店 仁川宮町 桐生屋仁川株式店

特約店募集 京城電氣株式會社 瓦斯コークス 一手販賣所 越野商店 堀井謄寫堂京城出張所

日本人の發展振り
戰時中の米國を觀て—上—
丹羽清次郎氏歸朝談

在米中なりし京城基督教青年會總主事丹羽清次郎氏は十四日朝歸京せり、好成績を收めつゝ在る米國の青年事業…宿舍に訪ふて其談を聽く、語つて曰く

私は丁度十一月の二十日にシヤトルを出まして本月四日横濱に着きました實は十四日夜歸京の豫定でしたが釜山に於ける用務が案外早く片付いたので直ぐ歸つた樣な譯です船は目下の

歐洲航路船の內 で大きいものと謂はれて居る日本郵船の伏見丸を選びました元來今度の私の用向きと申しますのは所謂彼方の鐵道青年會と云ふものが發會されてから昨年で丁度四十年に成ると云ふので我が朝鮮に於ける鐵道青年會を代表して四十年記念式に參列した迄のことです米國では此の青年會と云ふものはずつと以前から發達し各地に於ける大學を始め到る所に之れが組織を見

一般人民を敎育 すると共に一面偉大なる慰安の道を與へ著々其の實績を擧げて居るのです特に鐵道青年會と云ふのは卽ち鐵道從業者を以て其の組織の基礎として居るからです——私は已に兩三度渡米した事がありますが今度あちらへ參りまして種々面白い現象を見出しました中で一私等の頭に好感を與へて吳れたものは亞米利加の西海岸卽ちシヤトルから漸次南の方ポートランドやサンフランシスコ其れからロスアンゼルス邊りに居住して居る日本人が

前年渡米した時 よりも非常に米人社會に認められて居る畢竟日本人の格が一段と昇つて居る事でした殊にシヤトル、ロスアンゼルス等に於ける日本人の發展は皆著しいもので三井とか郵船とか商船とかと云ふ樣な會社の事業が日々其の進展の跡を見せて居るのは勿論の事で三井等では昨年中一億餘圓の純益を上げたと言ふ事であります而已ならず日本人にして專ら米人を對手とするホテルやレストラント等を經營し

米人の仲間にも 極めて善良な風評を立てゝ居るものもあります在米日本商人の如きも著々其の地歩を固めシヤトルに於ける日本人經營の市物市場の如きは特に同地領事から是非土産話として內地に紹介して吳れと話された位有名なものであります其れは一町四方位の市場で朝の二時頃から煌々たる電燈の下で盛んに商買をするのを米人等の最も驚法と思つて居る所です斯んな風で其の服裝の如きも漸次高尙に向ひしつゝ米國風に合せする樣に成つて居る丈け其れ丈け在米日本人の品格と言ふものが以前より餘程向上して居ると思ふのであります

歳暮の訪れ

華美に
歳末の贈答品
京城では實業家の贈答が盛んだ

安くて品が宜く實用に向くやうにと歳暮贈答品を選擇すると言ふ事には

▽**何處** の家でも相當に苦心して居るが市內各商店について會社、商店、官吏など各方面の傾向を聞合はせると、京城は官吏の町であるから官吏側の

▽**景氣** が惡いと一般に緩まなかつたが近年は實業家が盛んになつて來たせいか歳暮贈答品なども實業家の方が華美になつて來た、それは商工界が

▽**發展** して來たのと鑛業界の景氣が素敵に宜いため逐年取引狀態が複雜に且つ膨大した結果歳暮の贈答も又大きくなつて來たなど商賣關係からであるが官吏側は

▽**收入** に何等增收もなくて反つて物價が騰貴した爲め自然贈答品なども手控へしたり倹約で虛禮を廢するやうになつて來たためである從つて會社銀行

▽**其他** 實業界の重立者の家には此等歳暮贈答品が山と積まれるであらうが官吏側では從來のやうに盛んなものではなからう贈答品としては何が多く用ひられるか？と言ふに官吏側では

▽**洋酒** の箱入や葉卷などを商人側では菓子の箱詰や洋酒鑵詰類商品切手などそれから普通の家庭としての交際を結んでゐるものは

▽**互ひ** に茶器や道具類の贈答があり、ラクダシヤツ羽根布團、緞帳、座布團、奇麗な錦帛、緞物なども相當に用ひられる

▽**金額** は宜い處で四五圓から十圓前後で普通は一二圓位の處が多く鑛業家の中には五六十圓から百圓位までの贈物をする人もあるが怪なのは稀である

▽**以前** は三井とか大倉組などでは纏めて買つたものであるが近頃では個人で內密に買ふやうになつた爲め一軒で千圓以上の贈答品を註文するものは殆んどなくなつた

一家鏖殺事件
死刑宣告

元龍岡郡書記竹中一家鏖殺事件は十四日判決言渡あり被告張事乾に死刑の宣告ありたり（平壤特電）

李伯秘藏品を獻上

李王妃殿下には最も書道に堪能にして古今の法帖等を多數に所藏され常に筆硯に親まれ古帖を臨摹さるゝを無上の慰みとせられたるが內殿炎上の事あり爲めに是等の貴重なる法帖等は一も殘さず烏有に歸したるより李完用伯は之を歎き秘藏の淳化閣帖智永筆千字文及び支那乾隆帝の御鑑たりし端溪の實硯並びに寶石印材二十五個を妃殿下に獻上したる由、印材は支那、朝鮮及び日本內地產の水晶、瑪瑙、紫水晶、青尙石、象牙其他の寶石を集めたる最も貴重なるものなりと云ふ、而して李伯は同時に李王殿下へ堅約五尺、幅約四尺の支那古代照身鏡(元見)及び[illegible]螺鈿床(机)を獻上したる由

兇徒廿二名
護送さる

江原道伊川郡にて暴動を働きたる兇徒の中二十二名は十四日午後一時頃數名の警官に依りて京城に護送され京城地方法院檢事局の手に依り拘置監に收容されたり

燒けた兩會社
火元を爭ふ

損害は豫想より少い　十三日夜火災に罹れる大日本人造肥料會社の損害は豫測より少く三十萬圓位にて富士製紙會社工場四萬圓位なりと出火の原因全く不明にて兩者塗くり合ひ居れり（大阪特電）

奧村商會贈賄事件
‖關係者起訴さる

京都奧村電氣商會の贈賄事件に就き士八奧村武前理事前代議士加藤小太郎外二名起訴されたり（京都電話）

大同江結氷す

大同江は頃日來の寒氣にて上流より結氷し初めたるが十二日よりは牛壤陸路門稅關前の渡船を中止し大同門の一個所のみにて渡船交通をなしつゝあり同所も結氷既に江岸に達し歩行に差支なきこと[illegible]渡船者は日毎に減じつゝあり而して中には渡船を停止する[illegible]十五日の大潮にて結氷の[illegible]に至るべし

電燈を利用して
時間の整一

▢**時針の不整一**　試みに京城市內に於ける各戶の時計の時針を檢すると或る家の時計は正常時分より數十分早く又或る家のものは數十分遲るゝものがある等何人も一驚することであらう此時針の不正確なるが爲め或る者は時々鐵道列車に乘り遲るゝことがあり又或は郵便局の[illegible]時間に間に合はざることあり[illegible]

▢**生活上の不便**　少なくも官衙會社等の出勤時刻に遲刻するものある等吾々日常[illegible]が時計を正確にせんとするも午砲は場所に依つては之れを聞き洩らすこともあり又郵便官署に委託して報時機の設備をなさんには比較的多額の經費を要するの不利ありされば吾々は最も低廉にして且つ

▢**容易に時間を** 正確にする方法を攷究する必要がある[illegible]近時內地の[illegible]其地方の時計の統一を計[illegible]

▢**每日午後八時** を期し一瞬間全町の電燈を消燈をなすと共に町民は此時間に時針を正すと云ふ方法である頗る簡便なる方法と云へやう唯其方法の良否に關しては大に攷究の要があるけれども要するに

各戶の時針の 統一を計ることは[illegible]の點に於て必要であるから[illegible]ものがある卽ち其方法たるや頗る簡短で電燈會社は

賞與六十萬圓
酉前で分配する

鐵道院西部管理局にては六十萬圓の賞與金を十五日より分配する由（大阪特電）

龍山望樓新設

鐵道局水道配水山上に建設中なりし龍山消防組の望樓は頃日竣成し本月十五日より明年三月十五日迄晝夜[illegible]に從事せしむ

質子を水中に

全北沃溝郡開井面[illegible]洞中[illegible]は曾て女[illegible]女房の行衛を捜査し居りしが家出以來更にその所在も判明せず仲の世話に捨て餘し去る西日扶安郡下面元山里頓地里の東方を距る三丁の貯水池の堤防上より水深四尺餘の水中に倖を逆さに投げ込みて溺死せしめ屍體は附近の小丘に埋葬したる事をこの亡せりと

強盜犯人捕はる

十一月二十日夜十一時半頃咸南德源郡縣面內元山里雜貨商[illegible]方を襲ひ三名の強盜あり家人を叩き起し現金六圓入りの革財布を強奪し居るに陳列せる[illegible]二十圓を強奪して逃走せし者ありしが捜査中の處二十七日元山石隅洞大工職韓永贊事玄求贊(三)及び同洞百二十五番地趙錫斗(四)の所爲と判明し逮捕に向ふ所趙は既に何處へか逃走せり

放蕩から縊死

京城[illegible]一四四番地金貴[illegible]は[illegible]の城壁松の木に縊死し居るを發見せしが死後三日計りを經過し居れり同人は放蕩の結果無一物となり悲觀したる末此の始末となりたるものゝ如く屍體は從兄に引取れり

東雲諸伯揮毫

[illegible]今回本社、[illegible]同寺新築の三間に四本立の大額を揮毫中なるが出來上りの上は定めて立派なるものなるべし又ヶ地有志者より軸、屛風、扇等の揮毫を依頼するもの多しと

朝鮮には女が尠い
外國人は男百人につき女十二人

我が朝鮮の人口がどれ程位ゐあるかと言ふに大正五年末の調査に由ると內地人朝鮮人外國人等合計一千六百六十四萬八千百二十九人此の戶數三百十六萬七千三百六十二戶と云ふ勘定に成つて居る

▽**右の內內地人** は九萬三百五十戶三十二萬九百三十八人朝鮮人三百七萬二千九十二戶一千六百三十萬九千百七十九人、外國人四千九百二十戶一萬八千十二人と云ふ割合で所住して居る譯である然らば內地人、朝鮮人、外國人と區別をして一戶當りに平均何人宛位の人間が居住して居るかと言ふと其の計例は內地人が一軒の家に大正元年三、四五同二年三、五二同三年三、四九同四年三、五二同五年三、五五と言ふ數字を表はして居る

▽**之れに由つて** 見ると大正二年から三年にかけて一寸人間が減つた樣な傾向が見えて居るが大體に於て毎年々々一戶當りの人數の増加して行くのが手に取る樣に表はれて居る卽ち一軒の內に三人半ばかり住んでゐる譯だ朝鮮人は大正元年に五、〇五同二年に五、一二同三年に五、一五同四年に五、二七同五年に五、三一を示して居る卽ち一軒の內に五人强と云ふ人數である外國人は大正五年に三、六六といふ計數に成るから一戶當りの人數は

▽**一番少ない事** に成つてゐる、內鮮外人を合計平均した所で一軒の家に五、二六卽ち五人ばかりの人數に成る一戶當りの人口は以上述べた通りであるが然らば男百人に付き女は一體何人位ゐ居るであらうかといふに一寸判斷が付かぬが大正元年には內地人

いくら
年末の御贈答品でも
只、體裁のみに傾くのは
如何のもので御座いませう
本舖 秩父銘仙は
實用的で萬人向きの
贈りて安心!!
贈られて喜ぶ!!
どこの御家庭でも
大歡迎!!!
目下、きばつで面白い、年頭割戾し賣出しの外
格安品澤山著荷
京城本町
ちゝぶや
電話八九〇番

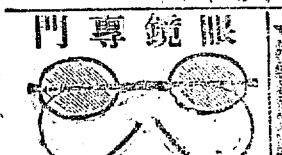
●淸絃會演奏會　淸絃會にては十五日午後五時より壽座に於て筑前琵琶演奏會を催す番組次の如し
旭瀨(中佐澤田旭浪)退隱入(和田蓬萊)大高源吾(湯田蒼齊)田村邸(村元春齋)本能寺(山宮翠紅)南部坂雪の別れ(江川旭陵)山內一豐(加藤旭飾)橘中佐(宇田旭雅)中山安兵衞(山村旭靜)賤ヶ嶽(薄村旭砂)筑後川(小泉旭濠)六代君(本多旭映)壇ノ浦(富樫旭匠)茶臼山(嵯峨崎旭船)湖水渡(松岡旭鶯)武盛三原旭翠、八島(小川旭塘)燕戶の渡(法橋山村旭汀)淡陽の四季、五絃合奏 旭映、旭汀、旭翠、旭龍、旭遷

▲**西比利亞の獨立**　西比[illegible]夷義氏はイルクック市を中心に露國の混亂狀態を左の如く語れり[illegible]會合せし結果は詳細知る能はざるも多分獨立に決定せしならん果して獨立せば何人を以て首領とする[illegible]は稚平程なるもレーニン派が政府を宣言せし以來軍隊に向て極端なる命令を下したるより軍隊の昇[illegible]ク市の露國人は約十五萬人內外にして[illegible]が約三分の二を占め居りしが革命以來海外輸入禁止と運輸機關の缺陷等にて輸入の途を失し約二年間[illegible]約二萬二三千人を算せり之れに反し日本人は僅かに二百人內外にて自石片岡兩商會の外他は頗る微々[illegible]方面とは多少の趣を異にし[illegible]ある商人が大部分を占め居る[illegible]め其だしき暴擧をなさず[illegible]つては或は九割位に暴騰せし[illegible]行はれ切符制度は廢止せ[illegible]切符制度は砂糖の缺乏[illegible]市役所に於て切符制度にて販賣[illegible]入を禁じ其王オムスク地方より多數の避難民入込み普通民家は素より學校、劇場等も避難民にて旅行人の容るべき旅館なくグランド、[illegible]

●**慶北漁獲高**　客月中に於ける慶北沿岸漁獲高は[illegible]慶州郡五百一千七百圓迎日郡十萬[illegible]

●**暴風警報**　▲警文長崎から[illegible]▲示度七五三ミリ 低氣壓中心日本海西部 ▲進行方向東 ▲警戒區域 咸鏡南北道、江原道、慶尙南北道沿岸（十四日午後九時發）

白さの異ふ 新發見
歳末年始の御贈答用として好適
ホーカー白粉
三本入は美麗なる進物箱（金一圓十五錢 送料內地無料）
●自然らしい白さにつく
●ノリノビが一等好い
●肌の營養劑を含む
●ツクカが強く化粧崩れがしない
●洗つた後まで白くなる
●肌アレ日ヤケを防ぐ
●匂ひ豐かに艶麗さを增す
定價 一瓶 二十五錢
送料 內地無料。滿鮮 廿錢
最寄の店に品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舖宛御注文下さい
本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話神田 特長四〇・長一二四〇 振替東京一五六

眼鏡專門

△堂號赤色
レンズ精撰
技術精巧
品位確實
價格低廉
親切勉强
(詳細定價表發行す)
京城南大門通一丁目二二番地
宮川大學堂
電話 二九五九番
振替京城壹貳九番
(眼鏡製造工場子弟入用)

(創業明治十六年)
地質、スタイルの新らしき
技術の優れたる
富田屋の洋服は！
著心地に於て既に愉快です
其上……
彼れの營業振と其の價格に誠實の終始一貫せるは尙ほ御客樣の御滿足せらるゝところです

京城大平通
富田屋
電話長七二二
振替京城九〇

年末年始御用の銘酒贈答品は澤の鶴に限る……
佐藤牧本店 電話二二九・二四八番
龍山漢江通り 佐藤牧支店 電話四二九番
龍山軍營內 佐藤牧用達部 電話五一九番

今盛ふ愛用せらるゝ
ヒーロー
防水 艶クリーム
本品は諸雜貨文具店にあり

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第九十六回

瘦生男子(九)

世に力量の高下ほど明瞭な物はない、強い者が勝つて弱い者は必ず敗ける、弱い者がどんなに按摩をしても、強い者に瑕をつくことは得きない、助左衛門は清之丞にぶつ突かつて、初めて自己の力量の不足を知つた、家名の名乃、一たび組へに鋒をと切るべき[illegible]持つて居ながら、清之丞に對しては竹篦だけの損もしない、いかに朝し遂へて死なうと思つても、それすら果すことが出来ない、斯うした場合は、死か、降服か、またけ[illegible]

之丞の詞にも一理がある』

「この後を何う遊ばすお心でございます」

『初瀬の行方を尋ねる、さうして武士の意地を立てる』

「恐れながら、わたしもそれを思つて居りました、初瀬どのは、土[illegible]そもありません、探したら知れ[illegible]はあるまいと[illegible]ます」

[illegible]

「ございます」

[illegible]それだけの覺悟を持つて[illegible]る者はお主の外に無い、過分に思

一たんの恥を忍んで、密に力量を養つた後、土を捲いて重ねて來て他日の勝利に待つかの三である彼は死も辭し難ねた、降參も辭し難ねた、即ち恥を忍んで清之丞の家を出た

『初瀬の首を持つて來い、さうしたら此の首を授けて遣る、それが最初の約束でないか』と清之丞は云つた、此の上は草を分けても初瀬の行方を探し彼女の首を双の尖頭につらぬいて、改ためて清之丞の家を尋ねる乃公の面目を立てるのはその時である』

途中はそれのみを考へ續けた

『旦那さま、御無念でございませう』

八助は力の入れ効もない結果を見て、挨拶の語も無く默つて居たが小半町歩いてから斯う云つた

『是非も無い成行ちや、然し、清

ふぞ』

「勿體ない御意でございます」

「一應屋敷へ歸り、朋輩へも委細を申し上げ、すぐ發足致さうと存ず、[illegible]隙も無い、[illegible]親があるでないか』

『拙が一人でございます』

『遠所へ參り、不幸には當らぬか』

『旦那様へ御奉公申し上げるを悲むようなお拜でございません』

人の心に落目を感じる時ほど、人の情の滲みると肝に滲みるものはない、助左衛門は八助の忠義を歎びながら歸る

玄關には作右衛門の穿いて來た細太草履が脱いである、打も負けても幸いが、目前に不精を打ち開けて踏つた面を、朋に合すは死よりも辛い[illegible]て出發後を輕んで泣く外はない。

ヤツと與へ通つて「父は、只今」と云つた作右衛門は先づ助左衛門の面を見る

『どうであつた?』

『清之丞はわたくしの敵ちやござりません、僞來の刀も、彼の腕に向つては、竹篦よりも劣つて居ます』

『備うあらう』と作右衛門は頷いた

「[illegible]な恥を忍んで戻りました此の上はお暇を頂いて、初瀬の行方を探しに出る外ございません」

[illegible]の首さへ持參すれば、清之丞は自己の首を即座に渡すと云ひます」

「一日でも早く」と作右衛門は老へる

『まだ、お暇を下さりませうか』

「まづ待て、お上のお暇を願ふ前に、詮議せねばならぬ事がある、初瀬之丞へ伺ういふ理で、初瀬の首を欲しがるのか、それを知る要があらうぞ』

此の詰お殘は急ぎ居て歸つて來た

石炭　各種　西崎商會　京城太平通二丁目　電話七二七番

愛山文集

山路愛山氏は操觚者として其の終始を一貫したる文人也。其の文筆に於ける獨自一己の別天地を開拓したる文人也。而して愛山文集は同氏が二十餘歳より五十餘歳に至る約三十年間の著作中に於ける文章の精粹を編纂したるものにして一面に於て氏の生ける小傳を稱するも亦過言にあらざる也。愛山文集の第一編は明治二十五年より同三十年に至る期間の作品にして第二編は明治三十一年より同三十五年に至る期間の作品也。第三編は明治三十六年より同四十年に至る期間の作品にして第四編は明治四十一年より大正元年に至る期間の作品也。第五編は大正二年より同六年三月氏の逝去に至る迄の作品にして實に是を氏の最後生活に於ける作品と爲す而して其作品たる氏の全著作に於て纔かに幾百分の一たるに過ぎずと雖も其の長編なると短章たるとを問はず鐵心總膽の精金美玉、千古不朽に垂るべき作品は殆んど之を網羅して遺す所なしと謂ふも可也。鳴呼亦文章の大なる哉。蘇峰學人氏の文を評して曰く『吾人が君に敬服するは其の想像力の精確、鮮明、豐富なりしこと是也。周代の生活狀態を說明するや、所謂三面記事も此の如く實際的なる能はざりし也。德川家康を說くや、現在の大選擧、山縣を語るよりも、眼前に其の人物を接近せしめたり。君は實に古を以て今と爲し過去を以て現在と爲の活手腕を有したり而して氏の文章は此の想像力の上に出でたり人は云ふ君は言を盡さず君は意を盡さずとされど氏は未だ嘗て[illegible]なく盡さゞる[illegible]所[illegible]ん[illegible]として[illegible]文は[illegible]にして[illegible]其の史論たり[illegible]務論たると、隨筆紀行其他の小品たるとを問はず悉く是れ氏の作品たらざるなく[illegible]是れ氏[illegible]の努力を多とせずんばあらず』[illegible]（定價金四圓[illegible]東京市京橋區[illegible]）

京城本町　千代田號印鋪　電話八九〇番

新刊紹介

▲朝鮮彙報（十二月號）[illegible]
▲戰友（九〇）[illegible]
▲現代の園藝工藝（十二）二十八錢[illegible]
▲月報（二之七）[illegible]
▲習字と作文（二の二）二十錢東京[illegible]
▲經濟資料（三の十二）二十五錢東京[illegible]
▲科學世界（四の十二）二十五錢東京本[illegible]
▲青年（五の十二）二十一錢東京市本鄕區[illegible]
▲青年界（十二）十錢東京市神田區三崎町[illegible]
▲極東時報（四五）十八錢東京市京橋區[illegible]
▲時事評論（十二の十三）五錢東京京橋區[illegible]
▲圖書月報（二五の十二）五錢東京日本橋區本材木町二の一　東京書籍商組合事務所
▲電氣旬報（一一〇）五錢大阪北區若松町二六　電界社

皮膚科　入院隨意（診察夜九時迄）　皮膚病　黴毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能減退　日曜祭日午後二時迄　京城明治町二丁目　佐藤醫院（電話一一三七番）

桃谷研究試驗所製　學理の精粹を發揮したる

美しくなる液

「美顏ユーマーの作用こそは近頃珍しい現象として世の婦人男子方の間に時の種となつて居ります。

唯一回の使用

[illegible]

一回三回四回

[illegible]

これなら高人が求めて止まぬ眞の美容の目的が充分に達し得られる[illegible]

美しくなる液　美顏ユーマーの作用と成分

◇顏色の艶麗
これは桃谷研究試驗所に於て、美しくなる液の創製を目論んだ時、先づ研究して新しく發見した粘液美容素の作用であります。此粘液素は、顏色を艶麗にすると共に、皮膚を柔かに滑かにして毛孔を開きます。

◇白色と美容
斯うして毛孔の開いた所へ、これも桃谷研究試驗所の發見に成る新しい白色美容素が其開いた毛孔から浸込んで行きますから其液は一滴もムダにならず、其強い白色美容の作用を充分に現す事になるのです。

◇アレを防ぐ
この開いた毛孔から浸込んで働く成分の中には、白色美容素の外にも種々の成分、例へば皮膚を[illegible]す成分の如き)が含りますから[illegible]を防ぐ成分であります。此美容素の作用があるので、美顏ユーマーを常用すると皮膚が荒れないといふ事が皆樣に言はれてゐるのです。

◇皺と荒と顏色
前に述べた粘液美容素にはまた皺を防ぐ作用が備はつてゐます其譯は此美容素は皮膚を軟かにして滑かにす作用が優れてゐるからです。それから外出前などに一寸附けた丈けで顏色を晴やかに活々させる事が肌の後に用ひて剃刀カブレを防ぐ事等も特質の一つであります。斯ういふ學理上、實際上完全な美容液ですから、美顏ユーマーは若き婦人方ばかりで無く、男子方及び年のいつた婦人方の間にも非常に賞用されてゐるのです。

名聲ある美顏ユーマーを創製したる　桃谷研究試驗所
所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇智忘
同　醫學士　米倉昌達
同　藥學士　小磯勝次郎
同　全藥學士　齋藤鋭助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
同　醫學博士　山本滋二氏

蛋白澱粉脂肪

新消化劑

プロテアーゼ

東京帝國大學三宅博士發見

[illegible]消化劑は[illegible]蛋白質にのみ有効にして澱粉に對しては未だ[illegible]のみなりしが今回帝國大學の三宅醫學博士は蛋白質に對しても強度の消化力を有するプロテアーゼを發見せり本品は一種のエンチームにして[illegible]の消化力現代に於て第一位たるが上に[illegible]に對しても其消化力は[illegible]のヂアスターゼに優り尚脂肪分解作用をも[illegible]斯く蛋白、澱粉、脂肪の三種に對し完全なる消化力を具備する[illegible]は實に本品を以て第一となす

粉末と錠劑の二種あり

前記の事實は内務省東京衞生試驗所の報告に見るも明なり胃腸障害の爲に常にヂヤスターゼ其他の消化劑を服用せられつつある人は速に本劑を試み其偉効を知れ

定	價
粉末　二五瓦　一〇瓦	一圓四十錢　六十五錢
錠劑　百錠　廿錠	三九十錢　十錢

東京京橋南傳馬町三丁目　星製藥株式會社　電話京橋一七八五番　振替東京二〇五二二番

新藥　ツヨール

[illegible]

發賣元　大阪道修町三丁目　[illegible]　振替大阪八六七番
東京市日本橋區[illegible]川瀬石町　ツヨール商會

▲本品は殺菌力を有し且の對に胃腸を[illegible]せず
▲膀胱カタル、尿道炎、淋病、睾丸炎、前立腺炎、其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す
五十粒入　九十五錢
百粒入　壹圓八拾錢
▲説明書無料贈呈す

[illegible]定價[illegible]

乳養劑レクモン

母乳分泌催進の効

岡山醫學專門學校教授秦島博士より有効なる證劑として推奨せられ又由下、吉原、吉澤の四醫學士は多數の實驗したる患者に用ひて甚だ有効なる强壯劑たる事を證せられたり

（容器）百瓦入　金壹圓武拾錢
二百瓦入　金武圓貳拾錢
　　　　　金四圓五拾錢

一手販賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛

通經新藥レスノリン

月經流經

[illegible]

アドラ錠

高峰博士創製のアドラリン、世界の最高貴藥たるアドリナリンを、主藥として、製せし我其の日藥にして、はやりめ、老眼、ただれめ、ほしめ、うるめ、やにめ、トラホーム、ものもらひ、くもりめ等に卓效あり。

（定價）小瓶　金十錢　大瓶　金二十五錢

發賣元　東京室町　參天堂製藥株式會社

大阪株式電報
[illegible]
十四日後場
大阪期米
[illegible]
當限寄付　二十四圓二十六錢
[illegible]
十錢先八十五錢より八錢三節當二十圓ノ四錢先八十六七錢四節中十錢先八十六七錢と續はらず大阪止め又動かさる移りあり結局六錢
十四日の二月限
寄付　十九圓八十六錢
仁川　京取引所